

簡易生命保険法案外一件特別委員會議事速記録第二號

大正五年二月二十三日(水曜日)午前十時四十二分開會

○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ簡易生命保険法案外一件ノ特別委員會ヲ開會イタシマス

○富井政章君 チヨット伺ヒマスガ、今問題トナツテ居リマス議案ハ簡易生命保険法案ダケデゴザイマスカ、ソレトモ簡易生命保険特別會計法案ト云フモノモ同時ニ議題ニナツテ居リマシテ兩方ヲ通ジテ質問ヲ致シテ宜シイノアリマスカ

○委員長(伯爵林博太郎君) 唯今ハ簡易生命保険法案ダケガ議題ニナツテ居ルノアリマスカラ會計法案ノ御質問ハ後ニ願ヒマス、ケレドモ若シ是ガ共通關聯イタシテ居リマスコトアリマスレバ、唯今大體ノ質問中テアリマスカラ御質問ヲ願ヒマス

○富井政章君 ソレデハ此會計法案ニ關スルコトハ後迴シニ致シマシテ私ハ收入金ノ運用ニ關シテ少シ御質問イタシタイト思ヒマスガ、此法律案實施ノ結果トシテ各地方於テ小口ノ金額ヲ募集シテ、之ヲ中央都會ニ蓄積スルコトナルノアリマスガ、其運用ノ仕方ハ極メテ重要ナル問題デアラウト思ヒマス、若シ其運用が宜シキヲ得ザルトキハ地方ノ金融界ヲ萎靡セシムコトナルノアラウト考ヘマス、一昨日遞信大臣ノ御説明ニ依リマスト集マツタ保険料ハ成ルベク地方ノ產業團體ノヤウナモノノ貸附ケル方針デアルト云フ御話ニアッタ思ヒマス、此點ニ關シテ何カ御調査ニナツテ居ルヤウナモノガアルナラバ承リタイト思フノアリマス、私ハ成ルベク此直接間接ニ此保険ニ加入シタヤウナ下層社會ノ利益トナルヤウナ事業ニ振向ケルコトニナリタイト思フノアリマス、會計法ノ第五條ニ本會計ノ收入支出及積立金ノ運用ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ「定ム」トアリマス、此勅令デ唯今申上ゲタヤウナ運用方法が決ルニアラウト思ヒマスガ、此規定以外ニハ何ニモ保険法案ニモ會計法案ニモ見エテ居ナイヤウデアリマス、甚ダ不安心ニ思フノデアリマスカラ此點ニ關シテ明細ニ政府ノ腹案ヲ承リタイト思ヒマス、定メテ此勅令ノ内容トナルヤウナコトニ付テ御調査が出來テ居ルノアラウト考ヘマスカラ其點ヲ明カニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 唯今御尋ノ此運用ノ方法ニ付キマシテハ色ニ腹案モアリ

マスガ未ダ實ハ具體的ニ取極メタモノハナイノアリマス、此運用ヲ致シマスル場合ハ大

分先キノコトデアリマシテ、初メ早キニハ餘り澤山ナ資金モ集リマセヌ、假令保険金額ヲ

上ボセマシテモ保険料ノ集リマスノハ、初メカラサウハアリマセヌ、又運用ニ屬シマスモノヲ

保險料ノ中カラ拂出シヲ致シマシテ、餘ル所ノモノガ運用ノ資金ニナルノアリマス、先ツ

最初ノ中ハ矢張リサウ角立ッテ運用スルホドノ資金が集マラヌ場合ハ矢張リ公債ヲ起ス

トカ云フコトニ致スホカ仕方ガナイト思ヒマス、併ナガラ追々資金モ多クナツテ來ルト考ヘ

マスカラ、此運用ノ方法ニ於キマシテハ、篤ト十分ナル調査ヲ致シマシテ取極メル積リデ

ゴザイマスガ、今日ノ所マダ大分先キノコトデアリマスカラ、色ニ取調ベテ居リマスガ、マダ

確定シタモノハアリマセヌ、併シ大體ニ於キマシテハ、矢張リ成ルベク御話ノヤウニ下級人

民ノ利益ニナルト云フ方ニ放資スルト云フコトダケハ大體ニ於テ動カザル所アリマス、

折ニ其疑ノ起リマスノハ、此中央ニ集メタ金ヲ以テ政府ノ財政ノ償ヒヲヤルト云フヤウ

ナ、左様ナコトニハ用ヒマセヌ、總テ手短カニ申セバ、矢張リ社會政策的ノ方面ニ用ヒル、先ヅ略々其向キヲ申シマスレバ、各府縣市町村ノ公共團體ニ對シテ貸付ケルトカ、或ハ生產組合ニ對シテ貸付ケルトカ、或ハ保險人ニ對シテ貸付モアリマス、ソレ等ノコ

トハ數々舉ガラムスガ、其以上ドレードノコトニ迴スカト云フコトハ、悉ク具體的ニ廉ヲ舉ゲテ御話スルホドニ極シテ居リマセヌ、大體ノ方針ダケハ前申ス通リニナツテ居リマス

○富井政章君 細カナ御調査ハマダ出來テ居ナイト云フコトニアリマスガ、大體ノ方針ハ能ク承リマシタ、ドウカサウ云フコトニナリタイト思ヒマシテ、ソレデ私モ一己ノ希望トシテ唯今御述ベニナリマシタヤウニ方々ニ運用サレムコトヲ希望イタスノアリマス、金ハ下層社會カラ集メタ、而シテ其運用ハ中以上ノ社會ノ利益ニスルト云フコトニナリマシテハ、地方金融界ノ不景氣ヲ豫防スルト云フ點ハ一ツデアリマセウケレドモ、ソレデハ立法ノ目的ニ適合シナイモノアリマス、ドウカドコマテモ下層社會ノ利益トナルヤウニ運用セラレムコトヲ希望スルノアリマス、ソレカラ今一ツ伺ヒタイト思ヒマスノハ、此生命保險ハ誰デモ出來ルコトニナツテ居ル、一昨日ヨリ頻ニ是ハ勞働階級ノ者ヲ救濟スル目的ニアルト云フ御説明デアリマスガ、ソレハ自然サウ云フコトニナルデアラウト云フニ過ギナインデアッテ、法文ノ上ニハサウ云フコトハ現ハレテ居ナノイデ、詰リ廣ク誰テモ出來ルト云フコトニナツテ居リマスガ、此法律ノ適用ヲ受クル者ハ種々ノ特典ガアリマス、無審查其他種種ノ特別規定ガアルノアリマスガ、サウ云フ風ニ廣クシテ置イテハ差支ナノイモノアリマスカ、例ヘバ労働者、小學教員トカ何カサウ云フ風ナ種類ノ者ニ限ル必要ハナインデアリマスカ、サウ云フヤウナ制限ハ設ケナクテモ自ラサウ云フコトニナルカラ差支ナノイデアリマスカ、其點ヲ一應伺ヒマス

○政府委員(松本烝治君) 此加入者ノ制限ノコトニ付キマシテ昨日ノ委員會ニ於キ

マシテ御質問ガゴザイマシテ、或程度マデ御答ヲ致シタノデゴザイマスガ、富井博士ハ丁度御闕席デアリマシテ、御聽キニ入レルコトが出來ナカツト存ジマス

(富井政章君「ソレデハ速記録ヲ見テモ宜シウゴザイマス」ト述ア)

簡單ニ申セバ適當公平ナ標準ハ定メ難イ、直接國稅等ニ依シテ定メテモ適當公平ナモ

ノヲ定メルノハ難イ、假ニ定メ得タト致シマシテモ、ソレデ調査スルコトハ實際上不能デア

ル、各地ノ稅務署等ニ就イテ數千万圓トカ云フベキモノノ一々調査スルト云フコトハ出

來ナノアリマシテ、其爲ニ非常ナ經費ヲ増シマシテ、却シテ保險料ヲ高クスルト云フ

弊害ヲ生ジマス、而シテ依シテ得マシタル實益ハ極メテ例外のモノノ加入ヲ増進スルト

云フ、サウ云フコトニナルト、到底利害相償ハナイコトニナリマス、詳細ナコトハ昨日申上

ゲマシタ答テゴザイマス

○仲小路廉君 此資金運用ノ點ニ付キマシテハ、一昨日私カラ質問ヲ致シタノアリ

マス、唯今尙ホ富井博士ヨリモ御質問旁々御希望ガアッタノアリマス、私ハ別シテ此點ニ付テ遞信大臣ニ對シテ自分等ノ所思ヲ明カニシ、希望ヲ申述ベテ置キタイト思ヒマス、

實際地方カラ零碎ノ資金ヲ集メテ、其多額ノ金ヲ中央ニ集中シテ仕舞フト云フコトハ、其地方ノ財源ヲ涸渇セシムルコトニアル、經濟上少カラズ關係ヲ有シテ居ルノデアル、獨リ此事ノミナラズ、實ハ先年鐵道國有ノ結果ニ於キマシテモ、是マデハ各地方ニ分配サレテ居タモノガ免角其資金ガ中央ニ集マル、又郵便貯金ノ實行ノ際ニモ往々サウデアリマス、遞信大臣ハ勿論其御考ハ御有ニナルダラウト考ヘマスガ、遞信省ノ方ノ側カラハ成ルベクハ地方カラ零碎ノ資金ヲ集メタモノハ復タ地方ノ方ハ返スベク折角希望イタシマス、又貯金ヲ實行シテ地方ノ零碎ノ资金ヲ集メタナラバ再びソレヲ地方ニ返スノが都合が宜イト考ヘルノデアリマス、所ガ實際ハ免角大藏省ノ預金部ノ關係上往々遞信大臣ノ希望サレテ居ルト云フヤウナ事柄ト、大藏大臣ノ考トハ一致シナシ場合モ實際アルノデアリマス、定メテ遞信省ノ方ノ側デハ矢張リ其金ヲ御用ヒナルト存ジマスノデアリマスガ、是ハ議論デハアリマセヌテ實際デアリマス、殊ニ今日此簡易保険ヲ、別ケテ中流以下ノ者ヲ目的ニシテ、地方ノ零碎ノ資金ヲ集メテ、サウシテ斯ウ云フ事業ヲ御實行ニナルニ付キマシテハ、此前段々政府委員カラノ御説明モアツテ私ハ能ク了承シテ居ルノデアリマス、成ルベク此資金ヲ出シタ方ニ復タ還ツテ行クヤウナ方法ヲ、即チ中流以下ノ者カラ吸收サレタモノハ再ビ又其中流以下ノ方ノ潤ヒニナルヤウニ地方ニ分配セラレ、回収サレテ行クヤウニナリマスト、繰返シ是が社會全般ニ少カラヌ利益ヲ及ボスコトト、存ジマスノデアリマス、成ルホド此事ヲ唯今、或ハ法律ニ規定スルトカ、勅令ニ明確ニ規定シテ置クト云フコトハ少シ無理カトモ存ジマス、立法當時ニ於テ、其議政機關ニ於テ矢張リサウ云フ希望モアツタノデアルシ、又政府モ其時ニ其考ニアッタ云フコトが記錄ニ残ダテ居リマスコトハ、他日愈々是が實行サレテ資金運用ノ點等ニ付テハ甚ダ便利ト考ヘマス、繰返シテ此事ヲ申述べテ置クノデアリマスガ、ドウカ遞信大臣ニ於カレマシテモ唯今ノヤウナ趣旨ヲ能ク御參酌ニナリマシテ、成ルベク將來ニ於テサウ云フ必要ノ追テ來タ場合ニハ矢張リ元ノ方ニ還元、復舊シテ、繰返シ繰返シ又ソレガ一般公益ニ使ハレルト云フヤウナ方ニナルコトヲハ管希望スルノデアリマス、之ニ付キマシテ何レ大藏大臣ナリ其他トモ段々話合モアラウト存ジマスガ、之ニ付テ遞信大臣ノ御所見ヲ承テ見タイト思ヒマス

○國務大臣(箕浦勝人君) 唯今御述ヘノコトハ前日來略申述ベマシタ通リサウ云フヤウニナラケレバナルマイ、サウ云フヤウニシタイ熱心ニ考ヘテ居リマス、既ニ大藏ノ當局トモ大體ニ於テハ話合ヲ致シテ居リマスガ、併ナガラ此事ハ從來ノ御經驗上カラ色ニ御話ニナツタヤウナ次第デゴザイマスノデ、一層力ヲ盡シテ、是非サウ云フ 方針ニナルコトニ努メル考デアリマス

○政府委員(松本泰治君) 唯今ノコトニ付キマシテ一應私カラ申述ベタイト思ヒマス、ソレハ郵便貯金ノ方ノ金ハドウモ變動が多いノデゴザイマス、貯金ハ引出スコトが出マス爲ニ、或金額が溜シテ來マシテモ亦隨分澤山ナ金ガ一時ニ出テ仕舞フコトガゴザイマス、其爲ニ此運用ニ付キマシテ固定的ニ各地方ニ分配スルト云フヤウナコトハ餘ホド困難ヲ感ズル點ガゴザイマス、然ルニ簡易保険ニ依リマシテ集メタシタ金ハ、保險會社ノ積立金ト同シク殆ド動キガナイモノデゴザイマス、出テ參リマス金が計算上豫定が出來ルモノデゴザイマス、大部分ノ金ハ確定不動的ノモノニナリマス、從テ此簡易保険ノ資金ノ放資ニ付テハ、確定シタ計算モ立チマシテ、長イ貸付、又地方的ニ分配スルト云フヤ

ナコトノ貸付モ容易ニ出來ル性質ヲ有シテ居ル、サウ云フ性質ヲ有シテ居リマスカラ政府ニ於キマシテハ此性質ヲ利用イタシマシテ、十分御希望ノヤウナ意味ニ投資ヲスルコトニ努メタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○鎌田勝太郎君 此保險法ヲ御實行ニナルシタ場合ニハ朝鮮及臺灣ニモ御施行ニナルノデアリマスカ、ナルノデアラウト考ヘマスガ、サウスルト臺灣ナドノ舊來ノ人ノ死亡率ノ統計ナドガナカラウト思ヒマスガ、ワレ等ニ對シテハドウ云フヤウナル御計算ヲナシテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(松本泰治君) 唯今ノ所デハ此簡易生命保險法ト致シマシテハ内地ダケニ施行スル積リデゴザイマス、若シ朝鮮臺灣等ニ於キマシテ是ト類似事業が始メラルルコトニナリマスレバ、或ハ制令ニ依リ或ハ律令ニ依リ或ハ勅令ヲ以テ施行スルコトが出来ルカモ知レマセヌガ、唯今ノ計畫ト致シマシテハ 朝鮮臺灣等ニ及ボスノ計畫ハ毫モナイノデゴザイマス

○小松謙次郎君 唯今此積立金ノ運用ニ關シテ遞信當局トノ間ニ種々ノ御應答ガアリマシテ、其御應答ニ依レバ、此上更ニ類似ノ質問ヲ發シテ御煩ハシヲスルト云フコトハ甚ダイカヌトモ考ヘマスガ、此問題ハ日本ニ在シテハ頗ル困難ナル問題デアリマス、或點カラ申セバ主義ノ爭ヒデモアルデハナイカト思フヤウナ點モナイデハナイノデアリマス、即チ此郵便貯金ノ運用等ニ付キマシテハ、元ト英吉利ノ眞似ヲシタノデアリマシテ、即チ其集メマシタ金ハ財政ノ運用ニ便ズルト云フコトが重モナル目的デアリマシテ、從テ運用方法モ主トシテ公債ニ依ルト云フコトデ、地方ニ集メタモノノ以テ中央政府ノ財政ノ運用ニ供スルト云フノガ最初ノ起リデゴザイマス、然ルニ貯蓄ヲ獎勵スルニ當ツテ右様ナコトデアリマシテハ到底獎勵ヲスルコトが出來ヌト云フ關係カラ、漸次其方針ヲ緩和シテ、成ルベク地方ニ迴ハシテ、地方ノ產業獎勵ヲシ或ハ地方團體ノ財政ヲ裕カナラシメヤウト云フコトが非常ナ問題ニナシテ、之ガ爲ニ一面テハ議會ノ公約トナリ、内部ニ在シテハ三省ノ委員ト云フヤウナモノヲ組織シテ、サウシテ此貯蓄金ノ運用ト云フコトニ付テ協議ヲスルヤウナ關係ニナツタノデアリマス、又之ニ反シテ近頃起ル各種ノ制度ト云フモノハ重モニ社會政策ノ見地カラ起シテ來テ、サウシテ其模範ヲ爲スモノハ白耳義デアリマストカ、奥地利アリマストカ、其大陸ノ諸國ニアリマストカ、其運用ノ方法ト云フモノハ、貯金ナラバ貯金ノ加入者、其他一般下層社會ノ改良ニ資スルト云フモノハ重モリマス、此方針ヲ實行スルガ爲ニハ種々ノ機關モ設ケ、種々ノ聯絡モ取リシテ、サウシテ之ヲ實行スルト云フコトニナツテ來テ居ルノデアリマス、詰リ此何カ適當ノ方法ヲ以テ此間ノ關係ヲ結ビ付ケルニアラザレバ、大藏ノ當局ト云フモノハ從來カラノ例ニ照シテ必ズ國債等ニ運用スルト云フコトヲ以テ主眼ニシテ、又社會政策其他ニハ餘リ考ヲ及ボサヌト云フコトニナルノハ、是ハ昔カラノ仕來リノ如キモノデアリマス、ソレデ實ハ此會計法ガ出來マス上ニ付キマシテ、其邊ノ幾ラカ保障ニナルベキ規定デモアレバ頗ル結構デアルト思ヒマシタノデアリマスケレドモ、是ハ全ク勅令ニ讓ッテアル、併ナガラ大體ノ方針ハ既ニ遞信大臣モ御話ノ如ク、社會政策ノ運用ニ供スルヤウニスルト云フコトデアリマスカラ、必ズヤ勅令以下ニ於テサウ云フコトノ御規定ニナルコトデアラウト信ズルノデアリマスガ、茲ニ私が之ニ關シテ特ニ此際遞信大臣ノ御意見ヲ伺シテ置キタイト云フノハ、大陸諸

國ニ於テ此積立金ヲ運用スルコトニ當リマシテハ、非常ニ有力ナル諮問機關ヲ設ケサウシテ其運用ニ關シテハ必ズ其機關ノ評議ヲ經ナケレバナラヌコトニナツテ居ルノが大體ノ例ニナツテ居ルヤウデアリマス、ソレデ或ハ此運用ニ關シテハ資金運用審查會ト云フヤウナモノヲ設ケテ、サウシテ其審查會ノ議ヲ經ルト云フコトニ、實ハ法律ノ上デ明カニシテ頂キタカツタノデアリマス、ケレドモ免ニ角サウ云フコトハナインテアリマスガ、今後設ベキ勅令ノ中ニ右様ノ審查機關ヲ御設ケニナル御考ガアルカナイカ、其點ヲ伺ツテ置キタ伊思ヒマス、其機關ガアリマスレバ大藏省が如何ヤウナル考ヲ持テマストモ、恐ラクハ其機關ニ於テ公債ニ應ズル、或ハ中央政府ノ都合ニ任ズルト云フコトハ到底承認スルコトハナインデアラウト思フノデアリマス、斯様ナ機關ヲ設ケテサウシテ遞信大臣ハ目的ヲ達スルヤウナ方法ヲ御講ジニナルヤ否ヤト云フコトニ付テ、私ハ政府ノ御所見ヲ伺ヒタイ

○國務大臣（箕浦勝人君） 諮問機關ノコトニ付テハ是非サウ云フ機関ヲ設ケマスコトガ宜シカラウト考ヘマシテ、其調査モ色々致シテ居リマスガ、併ナガラマダ愈、サウ云フ機關ヲ果シテ設ケルト云フコトニ決定ハナツテ居リマセヌ故ニ、此所デ明カニ其事ヲ確力ニサウ決メルト云フコトハ出來マセヌガ、政府ハサウ云フ機関ヲ設ケタイト云フ考ヲ以テ調査ヲ進メテ居ル、次第ニアリマス、尙ホ申シマスルガ此法律ナリ勅令ナリニ其事ヲ書イテナインハ不十分ノヤウナ御感ジモアルデアリマセウガ、併ナガラ此議會ニ於ケル立法ノ精神ハ自ラ速記録ニモ留シテ明瞭ニナツテ居リマスコトデアリマスカラ、殆ド是ハ條文ニ掲ゲタ同ノ效力ガアルコト考ヘテ居リマス、却テ法文ノ上ニ掲ゲマスト色々又差支ヲ生ズルコトガアリマスルノデ、却テ彈力アルコトニシテ其立法ノ精神ハ下層社會ヲ救クト云フコトデ宜シイカト考ヘテ居リマス次第ニアリマス、尙ホ今御話ノコトハ是非其邊ノコトニ定メタイト專ラ考ヘテ居ル次第ニアリマス

○委員長（伯爵林博太郎君） 私ハ富井博士ノ御話ニナリマシタコトニ付テ、チヨット御伺シテ置キタイノデアリマスガ、富井博士ハ下層ナル者カラ零碎資金ヲ集メタ金デアルカラ成ルベク下層社會ニ、社會政策的ニエラ運用シタイト云フ御考デ色々述ベラレマシタ中ニ、小學校教員ノ御話ガチヨット出マシタガ、私ハ此立法ノ精神ハ下層社會ヲ救濟スルト云フコトデアルナラバ、富井博士ノ云ハレル如キ小學教員竝ニ極メテ薄弱デアッテ最モ本法ヲ適用シテ貴ヒタイト云フ對照アル巡查デゴザイマスガ、此一ツノモノヲ救濟スルト云フコトガ、先づ常識デ考ヘタナラバ一番適切ナ法ノ運用デハナイカト考ヘマスガ、小學校教員ノ方ハ教育ニ從事シテ居ル者ノ當局竝ニ在野ノ人々モ大ニ増俸其他養老等ノコトニ付テハ考ヘテ居リマスカラ、比較的五十錢乃至小額ノ保險料ヲ支拂が是ニ加入シ得ルト云フコトニナルナラバ頗ル日當ニ於テ危險ヲ……一旦危險ニ際シテハ生命ヲ失ヒ、而シテ妻子ハ飢ニ泣クト云フヤウナ狀況ニ最モアリ易キ巡查ノ如キニ至テハ剩スト云フコトハ頗ル困難ナルサウテス、若シ此本法が施行サレタ後ニ於テ巡查ノ如キシアルモノガ此法ニ適用サレテ、直チニ此法ノ恩澤ヲ受ケルコトガアレバ、大變結構ナルト考ヘマスガ、直接此法案ニ關係ハアリマセヌケレドモ、多少此立法ヲナサル場合ニ際シテ斯ノ如ク最モ適當ナル法ノ對照トナルモノノ資格其他財政……個人經濟等ノ關

係モ御調ベニナツタ思ヒマスガ、ソレ等ノコトニ付テ閣議其他立法ヲナサル間ニ於テ御調査ニナツタモノニアリマスカ如何デゴザイマス

○政府委員（松本烝治君） 此立法ヲ致シマスニ付テハ加入スベキ者ト豫定スベキ各種ノ勞働者及之ト同一ナル狀態ニアリマスル唯今御話ノ小學校教員巡查其他監獄ノ看守、押丁等、其他各種ノ職業ニ付テ職業別、多少ノ調査ヲ試ミマシタ、或ハ總テ此調査が完全ニ出來マシタナラハ是等ノ調査ニ依テ更ニ資格ヲ制限スルコトガ出來ヤシナイカト云フコトモ考ヘマンシテ色々調査ヲ致シマシタ、其調査ノ際ニ當リマシテ御話ノ薄弱ナル、他ニ財產ノナイヤウナ小學校教員或ハ巡查ノ如キモノノニ對シテハ、成ルベク此保険ニ這入ルコトヲ希望シタイト云フ考ヲ有ヅテ居リマス、而シテ二十歳デ此保険ニ這入ルナリマスルト終身ト致シテ二百圓テ七十二錢ノ保険料ニナリマスカラ、百五十圓ト致シマスト二十六錢バカリニ當ル、巡查ノ如キモノノニ對シテハ、成ルベク錢位ノ金ヲ剩スコトハ、或ハ煙草ヲ多少制限スルトカ何トカサウ云フヤウナ方法ニ拂シテモ出來ヤセヌカト云フコトヲ考ヘテ居リマス、先づ三百圓ト云フヤウナ保険金額ヲ拂フト云フコトハムツカシト致シマシテモ、其以下ニ於キマシテ此保険ノ惠澤ヲ受クルコトニ、多分當リ得ルグラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス次第ニアリマス

○荒井泰治君 此保険法ノ施行ニ付イテ政府當局ハ一面ニ非利益主義ニアリ、一面ニハ社會政策ノ一端ニ供スルノデアルト云フコトヲ言明セラレテ居リマスルガ、此法案ガ此原案通り御施行ニナルト致シマシタナラバ勢ヒ剩餘金ト云フモノガ生ズルコトハ明カアラウト思ヒマス、其資金ノ運用法ニ付テハ先刻ヨリ種々ノ御質問モアリマシテ或ハ公共團體其他成ルダケ社會政策ニ近イ所ノモノニ運用ラズルト云フ御話デハゴザイマスルガ、ソレトテモ此法案ヲ立テラレタ利率ハ三分五厘ヲ基礎トシテ御計算が立ツテ居リマスガ、何レニ此金ヲ運用スルトシテモ先づ日本ノ金利ノ程度カラ申シマスレバ其以上ニ於テ有利ナルコトハ明カデアラウト思ヒマス、或ハ五朱ニ運用セラルルトカ六朱ニ運用セラルルカ、如何ニ此金ガ社會政策ニ用ヒラル金デアリト言ヒナガラ經濟界ヲ支配シテ居ル一般ノ金利ニ逆テ、一面ニハ七朱八朱ノ普通ノ金利ノ所ニ、是レノミツ、四分二貨ス四分五厘ヲ融通スルト云フコトハ到底出來ナイト思ヒマスガ、又ソレハ一般ノ經濟界ヲ攪亂スルコトニナリマシテ、到底サウ云フ非常識ナコトハ行ハレルモノデハナイ、然ラバ普通ノ金利ニ依ツテ幾部分融通サレルトシテモ、其剩餘金ヲ積立テ居ル資金ハ隨分巨額ナモノニナラウ、昨日モ色々御質問ヲ申シマシタ通リテ我ニ見ル所デハ七千三百箇所アリマスル所ノ郵便局ニ於テ十件ゾツ坂フト假ニ致シマシテモ年々五百万圓ノ金ヲ得ルコトハ見エテ居ル、蓋シ此原案通り御施行ニナリマシタナラバ恐ラク其金が十分集メ得ラル金高デアラウト思ヒマス、然ラバ、ソレガ一年三年ノ年所ヲ經ルニ從ツテ隨分非常常ナ巨額ノ金ニナラウト思ヒマス、左様ナレバ勢ヒ此剩餘金ト云フモノガ餘ホド生ジテ參ルコトト思ノデアリマス、ソコテ然ラバ非利益主義デアル、ソレヲドウスルカト云フコトガ茲ニドッカニ見エナケレバナラスト思ヒマスガ、此法案ニ依ルモ施行方法ニ依ツテ見マシテモ今回ノ此法案ニハソレ等ノコトガ一向見エテ居リマセヌ、前キニ此委員會デ御配リニアリマシタ所ノ草案、即チ昨日伺ヒマシタ各商業會議所アタリニ御諮詢ニナリマシタ其案ニ依リマスル十一項ニ「剩餘金、事業上ニ生シタル剩餘金ハ總テ之ヲ契約

者ノ利益ノ爲ニ提供スヘク其大體ノ方法トシテハ繼續拂込者ニ對シ其期間ノ長短及拂込料金ノ多少ニ應シ割増益金トシテ交付シ旁ラ契約繼續ノ獎勵ニ資セントス」是ハ明カニ御確定ニナツタノデアリマスルガ、今回ハ更ニサウ云フコトハ見エナイ、ソレデ見エマヌガ、事ノ順序ト致シマシテ、斯様ナル剩餘金が生ジテ政府ハ一方ニ非利益主義ニアルト云フコトノ御趣意デアリマスベ、此政府ノ聲明サレテ居ル社會政策ノ一端デアルト云フコトデアリマスレバ、勢ヒ矢張リ此保險ニ加入イタシマスル所ノ下級民ニ成ルダケ思ヒマスガ、一向此度ノニハ見エマセヌノデアリマス、若シ剩餘金ガアリマシタナラバ、ドウ左様相成リマスレバ、是ハ矢張リ割増金トシテ此被保險者ニ御交付ニナリマスカ、或ハ利益ノ配當ヲシテ是等ノ者ニ御交付ニナルカ、何レ直接ニサウ云フコトノ御研究ガアラウトハ御議論ハアラウト思ヒマス、勢ヒ是ニ至ラケレバナリマセヌ、然ルニ是ニ行カズシテスコトヲ希望スベキコト考ヘテ居リマス、併ナガラ又或ル論者ノ說ニ依レバ到底此保險ハ成功ハ出來ナリ、死亡率ノ如キモ非常ニ豫定以上ニ殖エルダラウ、其結果トシテ不成功ニ終シ仕舞フダラウト云フコトハ既ニ昨日ノ委員會ニ於テモサウ云フ說ガアルト云フコト御質問モアッタヤウナ次第デアリマス、何分大ナル剩餘金ヲ生ズルヤウニ經營スルコトモ言ヘマセヌカラ、若シ生ジタトキハドウスルカト云ヘバ前ニハ契約者ニ對シテ利益配當リニ參リマシテ剩餘金ヲ生ジナイ、覶損モ生ジナイト云フ狀態ニ或ハ落著サレルカト云フコトヲ豫測シテ居リマス、併ナガラ唯今申シマシタヤウニ萬一剩餘金ヲ生ジナイト言フスルト、此利益配當ヲ致シマスル爲ニハ餘ホドノ手數ヲ要スルト云フコトハ「言フマデモナイ、其結果トシテ其爲ニモ多少ノ経費ヲ要スルコトニナリマス、而シテ手數経費ヲ要シマシテ此利益配當ヲヤリマシタ所デ其額ガドレ位ニナルカ、此保險料モ保險金モ極メテ小サイ保険金額、假ニ平均七十五圓ト見テ居ル位ノ極メテ小額デアリマス、此小額ノモノニ多大ノ利益ヲ生ズルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌ、此些少ノ利益ヲ分配スルコトハ極メテ小サイ、何厘トカ一錢トカ云フ金が出来ル、ソレガ爲ニサウ云フ手數ヲシテ、サウ云フ金ヲ割戻シテヤツテモ之ガ爲ニ保険契約者が利益ヲ受クルト云フコトニナラヌ、サウ云フコトヲ考ヘマスレバ寧ロ剩餘金ヲ生ジテ來ル傾向ガゴザイマスレバ公共團體ノ事業ノ資事業ノ必要上、利益ノナニ事業、公益的ノ事業デアリマスレバ成ルベク廉イ利デ資金ヲ供給シテ貰フコトが必要デアル、是ハ言フマデナイスノ如キ事業ニシテ此保險ニ加入シテ

居リマスル者ノ階級ノ者が最モ利益ヲ得ベキヤウナ公衆事業ト云フモノニ、成ルベク安イ資金ヲ供給シテヤル、安イ利息デ資金ヲ供給シテヤルト云フコトニ依リマシテ調節ヲシマシタナラバ、此方ノ利益ト云フモノモ詰リ今度ハ生ジナイコトニ利息ノ方デナツテ來ルヤウデハアリマスルガ、如何ニモ小金額ノモノデゴザイマスルカラ、其分配金タルヤ非常ニ小額ノモノ、此分配ヲ受ケタ爲ニ感ズル所ノ當事者ノ利益ト云フモノハサマデ多クナイ、併ナガラ小額ナモノニアリマシテモ之ヲ全體ニ集メテ見ルト可ナリノ巨額ノモノニナリマスカラ、此巨額ノモノヲ公益事業ノ方ニ安イ利ヲ供給スルト云フコトニ依ツテ得ベキ利益ハ餘ホド巨大ニアラウ、斯ノ如キ零碎ナル一匣トカ五匣トカ或ハ一錢ト云フヤウナコトニナルコトが却ツテ此リモ、其金デ病院ガ出來マスルトカ何が出來マスルトカ云フヤウナコトニナルコトが却ツテ此方針ニ依ツテ調節シテ參ルト云フ主義ニ大抵シタ次第テゴザイマス

○水野鍊太郎君 私一ツ御尋ね致シタク思ヒマスガ、今朝本會議ノ方ニ出テ居リマシタカラ、或ハ若シ同ジヤウナ質問が出マシタノデアリマスレバドウゾ御差止メヲ願ヒタインデゴザイマス、私ノ伺ヒタインハ此案ニ對シマシテ謂ハユル世間テ批評シテ居ルノハ民營ト官營ノ競争ト申シマスカ、接觸ニナル、而シテ其場合ニハ民營會社ガ打撃ヲ受ケルトカ、或ハ民業ノ壓迫ガアルト云フヤウナ聲モアレノデアリマス、是モ必シモ否認スルコトノ出来ナイ一ツノ聲デアラウカト思フノデアリマス、ソコデアリマスルカラ昨日、一昨日以來段々質問等モ致シタノデアリマスガ、昨日仲小路君カラシテ極メテ明快ナ質問ガ出テ政府ニ於キマシテモ其質問ニ對シテ明快ナ御答ガアツタノデアリマス、其趣旨ハ成ルホド二百圓以下ノ保険ノ民營會社ニ於テモ今日現ニヤツテ居ル、又此度ノ簡易生命保險ニ於テモニ百圓以下ヲヤルノデアルカラ、其間ニ於テ多少ノ接觸ハ無論アルト云フコトハ御認メニナックテ居ル、其間ニ接觸ハアルケレドモ必シモ謂ハユル打撃トカ、サウ云フヤウナコトハナインデアラウト思フト云フ御答デアッタノデ、詰リ民營ト官營ノ間ニ接觸ノアルト云フコトハ御認メニナツテ居ル、唯事實ノ上ニ世間デ稱スル所ノ打撃トカ云フヤウナコトハアルマニ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ民營ガエラク支障ヲ受ケルヤウナコトハナカラウト云フヤウナ御趣意デアツタヤウデアリマス、ソコハ私モ能ク了承イタシタノデアリマス、ケレドモ今日民營會社ノ事業ヲ見マスルト云フト、三百圓以下乃至百圓マテノ保険契約ヲ爲シテ居ルト云フコトハ事實ナノデアリマス、而シテ之ニ對シテハ今日迄デモ相應ノ被保險者ガアツタノデアリマス、デアリマスルカラシテ若シ官營簡易生命保險ヲ實行イタシマスレバ、必ズヤ其間ニ於テ多少デアルカ多大デアルカ其程度ハ分リマセヌケレドモ、其間ニドウシテモ或ル衝突ガアルト云フコトハ、是ハ理窟ノ上ニ於テモ又實際ノ上ニ於テモ免カルベカラザルコトニ付テアラウト思フ、ソレデアリマスルカラハ此接觸ノ範圍ヲ成ルベク少クスルト云フコトガ、一面ニ於テハ官營が民營ヲ壓迫シナイト云フ所ノ證キマシテハ民營事業ノ發達ヲ圖リ、一面ニ於テハ官營ノ事業ヲ成ルベク健全ニ發達セシメ、謂ハユル打撃ヲ生ゼシメザラムト云フコトハ是ハ必要ノコトニアラウト思ヒ、政府ト雖モ之ニ付テハ御同感デアラウト思フ、我ニモ亦此點ニ付テ苦慮イダシテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ私ハ此接觸ノ範圍ヲ成ルベク少クスルト云フコトガ、一面ニ於テハアリマスルカラシテ唯之が爲ニ民營ノ事業ヲ成ルベク健全ニ發達シタナラバ、此方ノ利益ト云フモノモ詰リ今度ハ生ジナイコトニ利息ノ方デナツテ來ルヤウデハアリマスルガ、如何ニモ小金額ノモノデゴザイマスルカラ、其分配金タルヤ非常ニ小額ノモノ、此分配ヲ受ケタ爲ニ感ズル所ノ當事者ノ利益ト云フモノハサマデ多クナイ、併ナガラ小額ナモノニアリマシテモ之ヲ全體ニ集メテ見ルト可ナリノ巨額ノモノニナリマスカラ、此巨額ノモノヲ公益事業ノ方ニ安イ利ヲ供給スルト云フコトニ依ツテ得ベキ利益ハ餘ホド巨大ニアラウ、斯ノ如キ零碎ナル一匣トカ五匣トカ或ハ一錢ト云フヤウナコトニナルコトが却ツテ此リモ、其金デ病院ガ出來マスルトカ何が出來マスルトカ云フヤウナコトニナルコトが却ツテ此方針ニ依ツテ調節シテ參ルト云フ主義ニ大抵シタ次第テゴザイマス

云フ極ク抽象的考デハアリマスルケレドモ、サウ云フ考ヲ持ツテ居ルノアリマス、ソレニ付キマシテ御伺ヒ致シタインデアリマスガ、從前ノ案ハマダ私詳シク拜見イタシマセヌケレドモ、主要ナル所ヲ見マスレバ、從前ノ案ニ於キマシテハ簡易保険ノ最高額ガ一百五十圓ニナツテ居タト記憶シテ居リマス、之ニ加アルニ加入者ニモ或ノ制限ガ附シテアッタヤク隨分困難ナコトアリマス、何ヲ標準トシテ是が制限ヲ附スルカ、或ハ労働者階級ト言ヅテモ労働者階級ト云アモノノ性質ガ極メテ不明ナル今日デアル、又所得税ヲ標準トスルカ、直接國稅ヲ標準トスルカ、之ニ付テモ極メテ困難デアルト云フコトハ、先日來政府委員ノ御説明ノ如ク承知シテ居ルノデス、地方稅ノ制限ナドニ付キマシテモ色々ミ研究イタシマシタケレドモ、是ハ隨分困難ナコトアリマス、斯ノ如キコトヲ以テ制限ヲ附スルト云フコトハ、ドウモムヅカシイト云フコトヲ御述ベニナツタノハ、全ク私是モ御同感ナンデス、デアリマスルカラソレ等ノ點ニ付テ全然舊法案ニ復スルト云フヤウナ意見ヲ申上ゲルノデハナイノアリマスガ、曩ニ各府縣竝ニ各商業會議所其他ノ團體ニ御諮詢ニナリマシタ案ノ其一點、即チ最高額ヲ今少シ下ゲルト云フヤウナコトニ致シマシタナラバ、多少ノ接觸ノ範圍ヲ少クスルコトモ出来ルシ、又之ガ爲ニ簡易生命保険ノ全體ノ關係ニ於テエライ變更ヲ來スノモナカラウト思ヒマスガ、其邊ニ付キマシテハ政府ノ今迄ノ御説明ヲ承リマスレバ、ドウモ是ハ困難ノヤウナ御趣旨デアリマシタガ、サウ云フ風ニスルコトハ出來ナイノアリマセウカ、又之ヲズルノデアリマセウカ、ドレダケノ観點が來ルノアリマセウカ、其邊ノ事實ニ付テノ御調アリマスレバソレヲ一應承テ置キタトイ思フノアリマス

○政府委員(松本烝治君)此簡易保険ノ前ノ案ハ二百五十圓ト致シテ居リマシタガ、此度ノ案ハ二百圓ト致シテ居ル、併ナガラ其實質ニ於テハ何等變更ヲ加ヘタ趣意デハナイノデ、前ノ案ニ於キマシテハ一割ノ割増ヲ與ヘル、我ミノ考デハ割増ヲ受クベキ者ガ這入ルノガ本則ニアリマシテ、其以外ノ者ハ非常ナル例外ト考ヘルカラ、乃チ前ノ案デモ最高額ハ三百圓ニナルノデ今ノ案ト實質ニ於テ違フ點ヲ感ジテ居ラナイノアルト云フコトハ、昨日カ一昨日カ確カ多少詳細ニ御答ヲ致シマシタ、其點ハ重複シテ申述ベマセヌ、此三百圓ト云フコトヲ下ゲテハドウカト云フ御話デゴザイマスガ、差當リノ此色云フモノガ七十五圓平均ノ保険デアリマシテモ、或ハ是ガ下リマシテ五十圓トカ、六十圓トナツタ保険デアリマシテモ大體ニ於テ經費上ニ於テ違ヒハナイノアリマス、サウナリマスト、三百圓ヨリ小額ニ致スコトニ致シマスレバ、其結果ハ即チ七十五圓ノ平均額ガソレヨリモ小額ニナツテ來ルコトニアリマス、此募集トカ、集金、其他ノ各般ノ經費ト云フモノガ七十五圓平均ノ保険デアリマシテモ、或ハ是ガ下リマシテ五十圓トカ、六十圓トナツタ保険デアリマシテモ大體ニ於テ經費上ニ於テ違ヒハナイノアリマス、サウナリマスト平均額ガ下ツテ來ルト云フコトハ何ヲ意味スルカト云ヒマスト、割合ニ經費ヲ餘計ニ要スル、即チ附加保険料ヲ多クシナケレバナラスト云フコトガ生ジテ來ル、其結果トシテ全體ノ保険料高マツテ來ルト云フコトニアリマス、我ミノ計算ニ於キマシテハ此計算云フコトハ前ニモ御話シテ居リマス、是位ナ差額ガアレバ、接觸スル範圍ニ於キマシテモ

競争ト云フコトヲスル虞が少カラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、ソレテ此保険料ガ尙ホニ付キマシテ御伺ヒ致シタインデアリマスガ、從前ノ案ハマダ私詳シク拜見イタシマセヌケレドモ、主要ナル所ヲ見マスレバ、從前ノ案ニ於キマシテハ簡易保険ノ最高額ガ一百五十圓ニナツテ居タト記憶シテ居リマス、之ニ加アルニ加入者ニモ或ノ制限ガ附シテアッタヤク隨分困難ナコトアリマス、何ヲ標準トシテ是が制限ヲ附スルカ、或ハ労働者階級ト云フ考ヲ持ツテ居リマス、此保険ニ於キマシテ他ニ差支ナイ程度ニ於テ低廉ノ保険料ニシタインテ居リマス、此保険料ニ方ニウニ記憶イタシテ居ルノアリマス、此制限ヲ附スルト云フコトニナリマスト、此保険料ニ方ニト思フノアリマス、但シ此制限ヲ附スルト云フコトハ、先日來政府委員ノ御説明ノ如ク隨分困難ナコトアリマス、何ヲ標準トシテ是が制限ヲ附スルカ、或ハ労働者階級ト云フ考ヲ持ツテ居リマス、此保険ニ於キマシテ他ニ差支ナイ程度ニ於テ低廉ノ保険料ニシタインテ居リマス、三百圓ト云フ金ハ既ニ申述ベタト思ヒマスガ、稼人ノ死ニマシタ場合ニ遺族ガ此小サイ商賣デモ始メマスト云フヤウナ金ト致シマシテ、ドウモ多イ金トハ考ヘテ居リマセヌ、是ガ下ツテ參リマスルト、ドウモ是等ノ此多少下層民中ノ餘裕ノ多イヤウナ者ト云フヤウナ者ノ利益ヲ圖ル所以デナイト云フコトニナツテ來リハシナイカ、又他ノ一方ニ於テ此保険料ニ依ルト、ドウシテモニ百圓ノ契約ハ三十歳ノ者ガ加入スルトシテ、終身トシテ七十ニ錢、養老トシテ一圓ニ二十五錢ト云フ状態デアリマスカラ、是亦負擔ニ堪ヘナイヤウナ大キナモノトハ考ヘマセヌ、サウ云フ點カラ考ヘテ見マスト、保険加入者ノ保険料ノ負擔ノ點カラ見マシテ、又保険金ヲ受取リマシタモノが使用スル點カラ見マシテモ、ニ百圓位ノ金ハドウモ適當ノモノデハナカラウカ、是ハ此歐洲大亂、戰爭後ニ於キマシテハドウシテモ金ノ値ハ必ズ下ツテ參ルト云フコトニ傾イテ來ル、斯ウ云フコトハ一般ニ認メマシテ居ルコトデアリマスカラ、此場合ニ於テ簡易保険ヲナスニ當リマシテ、三百圓ヨリモ小額ニ下ゲルト云フコトハドウデアラウカ、此前ニ於テ計畫イタシテ居リマシタノハ餘ホド前ノコトデアリマス、其當時ト比ベテ見マシテモ、矢張リ此金額ノ點ニ於テハ増加スル必要ヲ感ズル次第デハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソコ等カラ考ヘマストドウモ三百圓ヨリ下ゲルト云フコトハ事業ノ目的ヨリ考ヘマシテ良クナイダラウ、又假ニ其方ヲ犠牲ニ供シマシテ考ヘマシテモ保険料ヲシテ高カラシムル、加入者ノ利益ヲ害スルデアラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、此爲ニ前ノ案ト實質ヲ同ジウシテニ百圓ト定メタ次第デアリマス

○水野鍊太郎君 御趣旨ハ分リマシタガ、此保険金ヲ受取ル方ノ側カラ申シマシテ、三百圓ハ今日ノ經濟狀態ニ於テ若クハ將來ニ進ンダル經濟狀態ニ於テハ決シテ多額デナシ、ソレ以上ニ上ル方が保険ノ目的ヲ達スルノハナイカト云フ點ニ付テ私モサウデアラウト思フノアリマス、寧ロ五百圓位ナケレバハイカヌノデハナカラウカト思フノアリマスガ、併シ此點カラ申シマスレバ、必シモ官營ノ保険デナクテモ民營ノ保険ガアルノアリマスカラ、三百圓以上ノ保険ヲ附シタトイ云フナラバ、民間ノ保険會社ニ保険契約ヲシテモ差支ナインデアリマス、必シモ官營デ以テ三百圓ニシナケレバナラヌ、若クハソレ以上ニシナケレバナラスト云フコトハナカラウト思ヒマスガ、ソレハ別ノ事柄デアリマスカラ、御趣旨ダケハ承ッタノアリマスガ、モウツツ疑が起リマシタノハニ三百圓ヨリ下ゲルニ百五十圓トカ二百圓トカニスレバ保険料高クナル、ソレハ算盤上カラサウナラヌケレバナラスト思ヒマスガ、二百五十圓トカ、二百圓ニシテ保険料ヲ高クシナイデアル譯ニハ行キマセヌデゴザイマセウカ、利益ト申シマセウカ、積立金ト申シマセウカ、サウ云フヤウナモノが減ツテ來ルデアラウト思ヒマスガ、其一面ニ於キマシテハ労働者、下級民ニ保険思想ヲ普及シ、保険ノ利益ニ浴セシムルト云フノアリマスカラ、政府ハ非營利ノ目的デアリマスカラ、金額ヲ下ゲテ保険料ヲ高クシナイ方シモ利益ヲ餘計ニ取ル必要ハナインデアリマスカラ、

法ハナイノテゴザイマセウカ、モウ一ツハ唯今ノ最高額ヲ三百圓、最低額ヲ一千圓トスレバ、平均七十五圓ト云フコトアリマスカラ、ソレハ其通りアリマシテ、日本ノ經濟狀態ヲ比較スルト云フコトハ或ハ困難デハナイカト思ヒマスガ、御巡シニナリマシタ参考書ヲ拜見イタシマシテモ、日本ノ平均ノ七十五圓ト云フノハ高イノデハナカラウカト思ヒマスガ、ソレヨリモット下ゲテモ宜イノデハナイカト思ヒ先キホドノ御説明ノ中ニ巡査が月ニ三十錢アリマシタカ、三十五錢アリマシタカ、ソリマスガ、ナカノ其十錢モ困難ニ感ジテ居ルノアリマシテモ、三十錢ト云フモノガ困難デナイトハ私ハ思ヒマセヌ、要スルニ今日ノ程度デモウ少シ下ゲテ、低クシテモ宜イデハナイカト思ヒマスガ、其方ハ如何デアリマセウ、要スルニ私ノ伺セタノハ最高額ヲモウ少シ下ゲテ而シテ保険料ヲ高メナイデ政府ノ官營事業ニ支障ヲ來タサザル方法ヲ取ルコトハ出來ナイノデアリマセウカ、ソレハ絶對ニ困難ナノデゴザイマセウカ、其邊ヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(松本烝治君) 唯今ノ重ナル御問ヒノ趣旨ニ對シテハ計算上絶對ニ出来ナイト云フコトヲ御答シナケレバナラヌト思ヒマス、何トナレバ此唯今ノ計算ハ全然非營利、國庫ニ負擔モ掛ケヌ代リニ國庫ニ利益モ與ヘナイ、ギリノ決著シタ所ノ計算ニ立ツテ居リマスカラ、是等ノ計算ノ基礎ニナツテ居ル條件ヲ變更セザル限りハ保険金額ノ平均額が下がレバドウシテモ保険料ハ上ルト云フコトニアリマス、ドウモヤリニクイノデアリマス、即チ純保険料ヤ何カラ此計算ヨリ下ガル位テ經費ノ節約ト云フコトヲ申シマスガ、計算ノ上テ下ゲルト云フダケ……計算デ出スコトが出來ヌコトハ勿論ゴザイマセヌガ、此計算ガ果シテ樂觀的ニ見テ宜シイカ、悲觀的ニ見テ宜シイカ、即チ此計算ヨリモ利益ヲ上ボスヤウナコトニナリハシナイカ、或ハ此計算ヨリ不利益ニナツテ失敗ニ畢リハシナイカト云フコトニ付テ色ノミノ説モアルカノ次第ゴザイマシテ、政府ヲハ先ツ此計算通リニ往クダラウト云フ豫想ヲシテ居ルノアリマス、其點カラ見マスト、唯紙ノ上ノ計算ヲナスコトニアレバ何トカ御話ノ如ク辻棲ヲ合ハスコトが出來ヌコトハゴザイマセヌガ、政府ノ信ズル所ノ計算カラ申シマスト云フト、ソレハ絶對的ニ出來ナイト云フ御答ヲスルヨリ外ナイト云フコトニ歸著イタシマス、而シテ此七十五圓ノ保険額が高キニ過ぎヤシナカト云フコトニ付キマシテ、小兒保険金額ト云フモノハ埋葬實費ヲ償フクラヰニ大體ナツテ保険ノ側ニ付キマシテ、外國ノ例ハモウ少シ割合ト云フモノガ低ウゴザイマス、是ハ何故カト申シマスト、慥カ昨日モ御質問ニ對シテ御答ヲシタト思ヒマスルガ、外國ハ此小兒保険ノ保險金額ト云フモノハ埋葬實費ヲ償フクラヰニ大體ナツテ居リマス、外國ニ於キマシテハ小サイ金額、斯ノ如キ保険が多イノデ、外國ニ於ケル簡易保険ノ保險金額ト云フモノハ埋葬實費ヲ償フクラヰニ大體ナツテ居リマス、外國ニ於キマシテハ今ノ小兒保険ハ絶對的ニ之ヲ經營シナイ考デゴザイマスカラ、先ツ七十五圓位ノ所ニ落著キハシナイカト云フ考デゴザイマス、而シテ七十五圓ニ對スル保險料ハ二十歳ノ終身ト致シマシテ丁度十八錢位ニ當ルノデゴザイマス、サウ考ヘマスト是ハ左マデ多イ額デハナイ、是位ノ金ナラバマア隨分多數ノ人ガ一箇月儉約イタシテ殘シ得

ルモノデハナカラウカト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○富井政章君 今一ツ質問イタシタイコトガアリマス、若シ昨日闕席中ニ出マシタ問題デアレバ速記録ヲ見マスルカラ御答ガナクテモ宜シウゴザイマス、ソレハ死亡率ニ關スル云フコトニ大關係ガアルト考ヘル、御配付ニナツタ事業概要ト云フモノニ據リマスレバ死亡率ト内閣第一表ニ一割増ノ死亡率ト云フモノハ非常ニ高イコトニナツテ居リマスガ、此法律ノ適用ヲ受ケル者ハ地方ノ農民ヨリモ重モニ大都會ノ住民デアラウト思ヒマス、然ルニ此大都會ノ死亡率ト云フモノハ茲ニアリマス、各府縣年齢別死亡率ト云フモノニ依リマスルト、是ハ内閣統計局デ出來タノデアラウト思ヒマスガ、都會ノ死亡率ト云フモノハ非常ニ高イコトニナツテ居ルヤウデアリマス年齡ニ依シテ多少ノ違ヒハアリマスケレドモ、概シテ少キハ一割二分高キハ四割ト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、サウシテ見レバ此一割増ト云フダケデハドウモ低過ギハシナイカ、殊ニ此保険制度ハ無検査ト云フコトデアリマスカラ、身體ノ弱イ者ガ澤山加入スルト云フコトハ覺悟セナケレバナラヌ、ドウモ一割増ト云フコトハ國庫ニエライ損失ヲ來タスヤウナコトハナカラウカト云フコトヲ懸念スルノデアリマス、其邊ハ如何ノモノデアリマスカ、今一應御説明ヲ伺シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(松本烝治君) 此死亡率ニ付キマシテハ唯今ノヤウナ御質問ハ初メテ承ルヤウニ考ヘテ居リマス、此唯今御話ノ都會ノ死亡率ガ餘ホド高イト云フコトノ御基礎ニナツテ居リマス表ヘ明治四十一年ノ表デアルサウデゴザイマス、而シテ此四十一年ノ表ハ偶ニドウ云フ譯カ此死亡率が非常ニ高クナツテ居リマス、之ヲ基礎トシテ總テヲ斷定スルコトハ出來ナカラウト云フ専門家ノ意見デゴザイマス、併シ此都會別死亡率ノ如キモノハ統計ニ依シテナカノ、眞相ヲ穿チ難イサウデゴザイマス、例ヘバ外國ニ於キマシテモ大都會ノ死亡率ガドウ云フ例ヲ示シテ居ルカト云フト、死ニ掛ツタモノが都會ヲ出テ田舎ニ往ツテ死ヌ、ソンナヤウナ結果デ、大都會ノ死亡率ハ却ツテ低イト云フ統計ヲ示シテ居ル例が實際アルサウデゴザイマス、ソンナヤウナコトデゴザイマシテ此統計ハ非常ニ永年ニ涉リマシテノ統計、殊ニ謂ハユル國勢調査ノ如キモノヲ行ハレマシタ以後ニ於ケルヤウナ統計ナラバ稍々確實ト申セマセウガ、チヨット統計表ノミニ據ツテハ判斷シニクイ點ガゴザイマス、而シテ此簡易保険ニ於ケル死亡率ノ計算ハ一割ヲ國民死亡表ニ附加イタシテ居リマス、外國ノ例ヲ申シマスト、外國ノ簡易保険ニ於キマシテハ永年ノ經驗ニ依リ死亡率ト云フモノハ國民死亡率ヨリモ概シテ申シマスト低イ、即チ死亡ガ少イト云フコトヲ示シテ居リマス、斯ノ如キコトハ直ニ取ツテ此簡易保険ノ材料ニ供スルコトハ出來ナイカモ知レマセヌガ、重モニ先ア國民死亡表ノ死亡率ニ一割ヲ附加シテ居リマスルカラ、大體ニ於キマシテ此死亡率ノ方ノ關係上即チ死亡率が非常ニ高イト云フ爲ニ闕損ヲ生ズル、失敗ヲ生ズルヤウナコトハナカラウカト云フ大體ニ於キマシテ確信ヲ有ツテ居ル次第ゴザイ約ノ割合ハ普通保険ニ於ケルノトドウ云フ比較ニナツテ居リマスカ、此邊ヲチヨツト伺ヒマス

○男爵長松篤棐君 此ノ簡易保険ニ於キマシテハ解約ト云フコトハ……中途解約ト云フコトハナカノアルデアラウト私共ハ考ヘマスノデゴザイマスガ、其點ニ付キマシテ解約率等ハ十分御注意ニナツテ居ルコトハ存ジマスルガ、其邊ハドンナ御考デゴザイマスルカ、又此解約ノ割合ハ普通保険ニ於ケルノトドウ云フ比較ニナツテ居リマスカ、此邊ヲチヨツト伺ヒマス

○政府委員（松本烝治君）解約ニ付キマシテハドウモ其經驗ハ勿論ナイコトデゴザイマシテ、適當ナル標準ヲ得難カツタデ、色々其標準ニ付テ考ヘマシタガ、通常保險ノ解約率ヲ基礎トシテ之ヲ考ヘテ見、通常保險ニ於ケル解約率ヨリモ幾ラカ割増フシテ之ヲ定メルト云フヤウナコトハ却テ不適當アヘナカラウカ、即チ日本ニ於キマシテハ保險契約締結ノ際ノ弊害ト申シテ宜シカ、總テノ保險會社ニ斯ウ云フコトガゴザイマスガ、兔角其募集員ナドノ惡ルイ者ガ居リマス爲ニ、一回掛ケマシテ後、直ニ止メテ仕舞フト云フ意思ノナイ者ニ第一回ノ掛金ヲサセル、サウシテ自分ノ得マシタル手數料ノ中カラソレヲ仕拂シテヤリマス、サウシテ其差額ヲ懷ニ入レマスヤウナコトガアリマシテ、ソレガ爲ニ解約ス、募集ノ手數料ガアリマス爲ニ募集人ガ動モスレバ其差額ヲ利スルヤウナ考ア、這入ルコトガ出來ナイト云フノデ、此保險ニ於キマシテハ獨逸ノ「ビクトリア」、亞米利加ノ「ブリユーデンシアール」ノ二ツノ平均ヲ取テ定メルコトが先ダ宜カラウト云フコトデ、極メテ漠然タルモノテゴザイマスガ、斯様ナコトテ契約ヲ致シマス。

○委員長（伯爵林博太郎君）暫時休憩イタシマス、午後ハ一時ヨリ開會イタシマス

午後零時三分休憩

午後一時二十四分開會

○主査（伯爵林博太郎君）是ヨリ午前ニ引續キマシテ簡易生命保險法案外一件ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、皆サンニ御相談ヲ致シマスルガ、略々大體ノ質問ハ盡キタカノ如ク見エマス、是ヨリ逐條審議ニ移リマシテハ如何デゴザイマス。

○山之内一次君 段々御質問が今マテゴザリマシタノニ、矢張リ關係ノアルヤウデゴザイマスルカラ、私ハ一二御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマスル、此世間デ大分御論ノアリマスノハ、先刻水野君カラ御話ノアリマシタ金額ノ所ニ大分問題ガアルヤウニ思フノデアリマスルガ、殊ニ當業者ナドノ大ニ申シテ居ル所ハ三百圓トナシテ居ルト云フト、政府ノ方デハ何等民業ノ壓迫ト云フヤウナコトニハ關係ハナイト仰シヤルケレドモ、其實ハ五百圓位マデハ事實大ニ不利益ヲ受ケルト云フコトヲ言ヒテ居ルヤウニ聞イテ居リマスルガ、當業者ノ云フダケノコトハ無論ナカモ知レマセヌガ、或ル一部ニハ多少ノ眞理ガアリヤセヌカト思フノデアリマス、先づ假令二百圓グラ井附ケタイト云フ者モ、此色々手數料ヤ何カノ關係カラ勸誘員ガ五百圓位マデ大抵上ゲテ附ケラルノデアル、ソレデアルカラ今度官營ガ開ケテ、而カモ極ク確實ナモノデアルト云フ一方ニハ二百圓ヲ程度トシテ之ヲヤルト云フコトニナレバ、即チ今五百圓グラ井附ケテ居ル所ノ者ノ多クハ三百圓ノ方ニ行シテ仕舞フノデ、即チ五百圓グラ井ハ事實ニ於テ取ラルノデゴザイマスルガ、今日ノ保險ノ勸誘者モ金額ヲ上ゲテ勸誘シテ居ル、或ハ程度ハ事實デアル、或ル程度マデハ斯ウ云フ關係ガアリマセヌカ、當局者ハ何等サウ云フ關係ハナイト云フ思召デアルカ、其點ヲ伺ヒタ、ソレカラ又其三百圓トナシテ居リマスルト云フト、此勸誘者ハ必ず高イ方ニ大ニ勸誘ヲスル云フコトハ、是ハモウ人情已ムヲ得ヌ關係ニナラウカト思フノデアリマスル、例ヘベニ等郵便局長ガヤリマスルニ付キマシテモ、矢張リ此手數料ノ關係、募集手數料、ソレカラ集

金手數料ニ致シマシテモ此一口ニ多イ方ヲヤル方ガ最モ便宜デアル、デアルカラ其廣ク矢張リ餘計ニ勸誘スルト云フコトハ、ドウシテモ事實免レヌコトデハナイカ、サウスルト云フト果シテ此當業者及世間ノ言フ所ニ幾分ノ眞理ガアルトスルト云フト餘ホド關係ヲ及ボスコトが多イヤウニ思ヒマスル、ソレカラ又政府ノ方デハ昨日カ一昨日カハ重モニ百圓以下ノ方ヲ見込ンデ居ルト云フ御話ニナリマシタト記憶イタシテ居リマスルガ、然ルニ又一方ニハ政府委員カラノ御話ニ依リマスト云フト、ドウシテモ今日ノ程度三百圓位ノ是ハ必要ガアルト云フ御話ニナシテ居リマスルガ、既ニ自然ノ傾向ト致シマシテモ最高限度ニ必ず行ク傾ガアルヤウニ政府自身モ既ニサウ云フコトヲ今日ノ程度トシテ三百圓位ハトノ商賣ノ爲ニスルト云フ必要ガアルカラ、ドウシテモニ二百圓ト云フモノハ必要デアルト云フ考デアルト、矢張リ其下級ノ募集ヲ致シマスル關係ノ者モサウ云フ心ハ益々強クナリマスルノデ最高限度ニ多ク傾クト云フコトが寧ロ事實ニ其傾向ガアリヤシナイカ、ドウデアラウカ、其邊ノ所ハ當局者ハドウ云フ御見込ナルカ、其點ヲ伺ヒタ、ソレカラモウ一ツハ是ハ少シ違ヒマスケレドモ、此規則ニ依リマスト云フト一方ニハ無診査ガアリ、一方ニハ又此傳染病傳染病豫防法ニアル所ノ傳染病ニ非ザル病氣デ死ンダ所ノ者ニハ拂渡金ヲ減額ヲスル規則ガアルヤウデアリマスルガ、サア無診査ノ保險が出来ルヤウニナシタト云フノデ、云フモノガ出来ルノテアリマスカラ、サア無診査ノ保險が出来ルヤウニナシタト云フノデ、一方ニハ我モ我モト弱イ者が這入ル傾ヲ生シ、ソレカラ又募集スル方デモ、勢ヒ手數料ヤ何カノ關係カラ致シマシテ、モウ何モカニモ構ハズ、無診査デアルカラ御前モ這入御前モ這入レト言シテ、病人デモ何モ構ハズ、勸誘シテ這入ラセルト云フコトガ、事實實際ノ情況トシテハ行ハレハシマイカ、サウ云フ風ニ果シテナリマシタナラバ、後日拂渡金ヲ減額スルト云フコトニナシテ、即チ一部ヲ渡スト云フ法ノ適用ヲ受ケル者ガ續々出來マシテ、アソコニモ此コニモ、サウ云フ者ガ出來ル、初メ勸誘ニ應ズル者ハ、アトテ減額サレルモノカドウカト云フコトハ、餘リ法律モ辨ヘヌ爲ニ、唯勸誘ニ應ジタ、然ルニ希望ニ副ハナイコトが出来タ爲ニ、民心ニ面白カラザル傾向ヲ生ジテ、多少公安ニ影響ヲ及ボスト云フヤウナコトガアリハセヌカ、其邊ノ懸念ハ毫モナイト云フ思召デアリマセウカ、若シ又アルト云フ思召ナラバ、ソレニ付テ相當ノ取締モナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其邊ノ御取締ノ方法ニ付テ何カ御考ガアルカドウカ、ソレダケヲ同シテ置キタイ

○政府委員（松本烝治君）唯今ノ四ツノ御質問ニ御答イタシマス、第一ノ點、即チ實際ノ取扱致シマシテ、通常保險致シマシテモ成ルベク金額ヲ多クサスヤウニ勸誘ヲシハシナシカ、若シサウスレバ元來三百圓ト云フ積リノ者ガ五百圓ニサレルト云フ者ガ多クハナイカ、サウナレバ簡易保險が大分民間ノ二百圓以上ノ保險契約ニモ影響ヲ及ボスダラウト……ソレハ或ル程度マデハ甚ダ御尤ト考ヘマスルノデ、勿論募集員ハ成ルベク金額ノ上ルコトヲ望シテ居リマスカラ、五百圓ト言ヘバ千圓ニシロ、三百圓ト言ヘバ五百圓ニシロト云フコトハ、事實アリ得ルコト思ヒマス、併ナカラ三百圓ト五百圓トノ違ヒハ大分大キコザイマシテ、殆ド倍額ニ近イモノデアリマスカラ、勸誘ニ依リマシテ五百圓ニ這入ルコトノ出來ルヤウナ者ハ、矢張リ五百圓ニ這入ルコトニナリマシテ、コチラノ三百圓ニ満足スルト云フコトニハナルマイト考ヘテ居リマス、此三百圓ト五百圓トノ間ニハ事實階段ガナリヤウナモノデアリマス、五十圓ト云フ階段ハ設ケテ居リマセヌデ、三百圓ニ

カラ四百圓ニナルノデアリマスガ、四百圓ト云フコトハ人ガ甚ダ忌ミマスカラ三百圓ニ非
ズンバ五百圓ト云フコトニナリマスカラ、唯今御話ノヤウナコトガ生ズルトシマスレバ、勸
誘サレレバ五百圓ニ這入リ得ル人ガ、此法案ノ結果三百圓デ満足スルト云フコトニナリ
ハスマイカト云フコトニ歸著スルノデアリマシテ、其間ノ階級ハ事實ナイヤウニ考ヘマス、其
點ニ付キマシテハ、唯今述ベマシタヤウニ五百圓ダケ這入リ得ル資力ノ者ハ矢張リ五百
圓ノ方へ行クコトニナリマスカラ、大分此間ノ金額ガ大キイ差額ニナリマスカラ、先づ唯
今御話ノヤウナ弊害、即チ五百圓ニ這入ル積リノ者ガニ三百圓ノ方へ引カレテ這入ルト
云フ虞レハサマデ多クナイコト私ハ考ヘテ居リマス、ソレデ勸誘ニ依ツテ五百圓近クノモ
ノニ這入ルト云フヤウナ者ハ是ハ稍々上層ノ者ト見テ宜シイノデ、保険料ノ高低トカ又ハ
會社ノ基礎如何トカ云ノコトニモ多少ノ注意ヲ拂ヒ得ル人ト考ヘマス、ソレデ保険料ニ
付キマシテハ、コチラノ方が餘ホド高イ割方ニナリマスノテ、三百圓ノ簡易保険ニ這入リ
得ル金高ニ、モ少シ増セバ民間ノ五百圓ニ這入ルト云フコトニナリマスト、先づソレガ
三百圓ノ方ニ引付ケラレテ這入ルト云フコトハ、サマデ多クナイト考ヘマス、併ナガラ全ク
ナイトハ考ヘテ居リマセヌ、御說ノ如ク多少ハアリ得ルコトト考ヘテ居リマス、第一ノ點ニ
付キマシテハ、簡易保険ノ勸誘員ガ成ルベク高イノヲ入レタイト云フコトニナリマスト、唯今御
話ノヤウナ弊害ヲ隨分生ジ易イカト思ヒマス、其點ニ付キマシテハ募集手數料集金手
數料ノ率ニ大ニ段階ヲ設ケマシテ或ハ集金手數料ノ如キハ寧ロ一件幾ラト云フ位ニ
致シマシテ、小サイモノモ大キイモノモ同シ率ダゲノモノヲ與ヘルコトニナリマスト、唯今御
話ノヤウナ弊害ヲ隨分生ジ易イカト思ヒマス、其位ノ金額ハ實際必要トハ感シ
ト云フ具體的ノ確定案マデハマダ出來テ居リマセヌか、其方針デアリマスカラ第二ノ點ニ
付テハ、サウ云フ弊害ノ生ジマスルコトハナカラウト考ヘテ居リマス、是ハ左様御承知ヲ
願ヒタイ、第三ノ點ニ付キマシテハ、先程三百圓位マデノ程度ニスルコトハ必要テアルト
ハ斷ジテ生ゼシメナイヤウニ定メタイト考ヘテ研究シテ居リマスガ、如何ナル方法ニスルカ
申シタコトト、前ニ三百圓ガ主デアルト云フコトヲ申シタノト矛盾ガアリハシナイカト云フコト
ハ甚ダ御尤デゴザイマスガ、三百圓ト云フコトニナリマスルコトハ、此保険料ノ關係カラ申
シマシテ、矢張リ勞働者或ハ之ニ準ズベキ知識アル勞働者、是等ノ者ノ中テモ餘ホド餘
裕ノアルモノデナケレバ負擔ノ方カラ事實出來マセヌ、其位ノ金額ハ實際必要トハ感シ
テ居リマスルガ、餘ホド餘裕ノアル者テナイト是ハ出來マセヌ、殊ニ多少大キナ餘裕ノ出
來ル者ハ比較的老年ノ者ニ寧ロ多イノデアリマシテ、極ク若イ保険料ノ廉クツテ濟ムヤウ
マス、サウ云フ所カラ考ヘマスルト、三百圓グラ井ノ金ハ餘ホド必要ト考ヘテ居リマスガ、
最高限度トシテ必要ト考ヘテ居リマスガ、實際契約ヲ行フニサウ云フ額ヲ望ムコトハ事
實不能デアリマシテ、極ク年ノ若イ小額ノ金ヲ取ツテ居ル勞働者ヤ之ニ準ズベキ者ヲ多
くコチラヘ募集シタイト考ヘテ居リマスカラ、其中最高限度ハ三百圓ニナツテ居リマスガ、

實際ノ結果ハ小サイ方ガ多クハナイカト考ヘテ居リマス、殊ニ工場等ニ於キマシテ團體加入ヲ勧誘シマストキニハ、ドウモ少イモノガ多カラウト思ヒマス、尤モ是ハ數回ニ契約ガ出来マシテ、最初ハ先ツ百圓這入り、又アトテ百圓這入り、其次ニ又百圓這入り、皆寄セテ二百圓ニナルト云フコトハアリ得マス、數回ヤリマシテモ三百圓以上ニハ出來マセヌガ、三百圓マテハ數回ニヤルコトが出來マス、多クノ場合ニ我ミノ考デハ先ツ以テ最初這入リマストキハ其最高度ノモノニ這入り得ナイ、低イモノカラ這入りテ來マス、而シテ段々年ヲ寄シタ人間ニ必要ヲ感シテ來ル、又多少ノ餘裕ヲ生ジテ來テ、大キナ額ニ多少殖ヤシテ來ルト云フコトニナリハシニイカ、斯ノ如キコトニナルト、最初カラ三百圓ニ這入ルト云フモノハ極メテ少イコトニナリマシテ、矢張リ小額ノモノガ多カラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス、第四ニ御質問ノ削減期間ノ定メガアル、一方ニハ弱體者ヲ勸誘シテ入レルコトガアルカラ削減期間ノ適用ヲ見ルニ至リマシテ大ニ的ガ外レルト云フコトガ生ズル爲ニ、簡易保険ノ制度自身ヲ呪フヤウナコトハナイカ、最モ御尤ノコト考ヘマス、ドウシテモ削減期間ハ置カナケレバナリマセヌ、コチラトシテハドウシテモ弱體者ヲ招カナイヤウニシタイ、ソレガ爲ニハ申込ニハ既往及現在ノ重要ナル疾患ハ記載セシメタイト云フコトニ致シマンシテ一應ノ望診ヲ遂ゲマシテ、疾患ガアリサウデ、而カモソレヲ言ハヌ者ニ對シテ成ルベクソレヲ言ハヤウニヤルト云フ點マデヤリマス、詰リ二年内ニ死ンデ仕舞フコトガ殆ド確實ラシイモノハ入レナイト云フコトニ……實際ノ手續上入レナイト云フコトノ手段ハ出來ルダケ講ジタイト考ヘテ居リマス、尙ホ規則等が隨分ムカシウゴザイマシテ法律モアルシ、省令モアル、勅令モアリ規則モアル、錯綜シテ之ヲ示シマシテモ逆モ専門ノ法律家デモシッカリ解ルカ、ドウカ分リマセヌカラ、之ヲ行ヒマスルニ付テハ大體ノ趣意ヲ總テニ瓦リマシテ契約者ニ重要ナル事項ト認ムベキモノニ付テハ極メテ解リ易イ、總テ振り假アルシ、省令モアル、勅令モアリ規則モアル、錯綜シテ之ヲ示シマシテモ逆モ専門ノ法律ハ讀ンデモ講釋ラシテモ聽カスト云フヤウナ程度マデノコトヲヤッテ、而シテ申込ヲサセルト云フコトニ實際ハヤラセタイト云フ積リテ、是ガ若シ成立イタシマシタナラバ直チニ此法律勅令及規則全部ニ付キマシテ簡易ナルモノヲ起草スル、簡易ナル摘要的ノ解リ易イモノヲ起草スルト云フ考テ居リマス、之ニ依リマシテ先ツ左様ナル見込違ヒノコトヲ生ジテ簡易保險ヲ呪フヤウナコトハ出來ル限り避ケタイト考ヘテ居リマス

○荒井泰治君 私モ斯様ノコトデゴザイマスレハ一ツ伺シテ置キマスガ、先刻水野君ノ御質問ニ對シテ三百圓ト云フ極度ノ定額ヲ一百五十圓若クハツレ以下ニ落スコトハ出来ナイカト云フ御質問ニ對シテ、ソレハ保険料其他割合が高クナル虞ガアル爲ニドウシテモ絶對ニ出來ナイノデアルト云フ御答辯デアリマシタガ、ソレニハ少シク明瞭ヲ闕イテ居ラウト思ヒマス、其割出シハドコカラドウ云フ方法デ割出シニナシテ居リマスルカ、段々承リマスルト政府ハ此平均數ヲ七十五圓ト見テ居ラレル、致シマスルト、最初ハ二十圓カラ極度ハ三百圓ト云フコトニ、總テノ費用其他ニ之ヲ御計算ヲナサレマシテ其平均ヲ七十圓ト取ラレタヤウニ拜承イタシテ居リマスガ、致シマスルト當局ノ御考ハ若シ三百圓ヲ假ニ二百圓ト落シタ場合ニスルト、此七十五圓ト云フ平均數ハ下ガルヤウニナルト、費用ノ方が多クシテ、之ヲ償フコトが足リナインデアルト云フ算法ハ矢張リソコニ歸スルノデアリマセウカ、或ハ私共ガ普通ニ考ヘマスル所ニ依リマスレバ段々皆サンノ御質問モアリ

政府ノ御説明モアシテ自然此募集ハ金額ノ高イ方へ傾クモノデアルト云フコトハ政府モ御認メニナツテ居ル、我ニモ亦考ヘテ居ル所ニアリマスガ、左様テゴザイマスレバ、縱シ最高額ヲ三百圓トスル、或ハ一百圓トスル、其間ニ百圓ノ差ハゴザイマスルケレドモ募集ノ結果ハ其比例三下ノ方ニ、算盤ヲ置キマスヤウニ數學的ニ下ガッテ來ルモノデナイ、即チ平均數ト云フモノハ矢張リ七十五圓ニ狂ヒヲ來サズシテ行クモノデナイカト、マア考ヘマスガ、其邊ハ政府當局者ニ於カレマシテモ矢張リ數學上上ガルト御認メニナルノテアリマスカ、又想像上、上ニ行クモノデナイノデ、七十五圓ノ上ニ行ク見込ハナイカラ、下ガルノ虞アルト云フコトデアリマスカ、ソレトモ又別ニ正確ナル據アツテノ御答辯デアリマスカ、其邊ヲ確メテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(松本烝治君) 先程ノ三百圓以下ニ致シマスルト保険料ガ上ガラナケレバナラスト云フコトヲ御話イタシマシタノハ、先以テ七十五圓ノ平均ハ是ハ無論假定デゴザイマスルガ、我ニ此政府ノ總テノ計算ヲ致スニ付キマシテ、是が眞實デアルト云フコトヲ假定イタシマシテ掛リマスルト、此保険料デヤリマスルニハ七十五圓ノ平均テナケレバナラヌ、若シ之ヲ三百圓ハ二百五十圓ナリ二百圓ナリニ下ガリマスレバ、前ノ假定が間違ッテナイト致シマスレバ矢張リ是が平均額ガ下ガッテ參リ、從シテ此保険料デ参リマセヌ、是ヨリ高クナケレバナラスト云フコトニナリマス、勿論實際ノ遺リ方ニ二十圓乃至二百圓致シマシテモ二十圓ノヤウナモノハ取ラヌ、二十圓デト云シテ來アモ、ソレデハ少イソナモノデハ面倒ガカラ取ラヌ、モウ少シ上ゲロ、百五圓ト來タモノハ是非二百圓ニシテハドウカ、或ハ實際ノ募集ノ遣リ方トシテハ、小サイ賃銀ヲ取シテ居ル者ヲ入レタイ、來マスル者ニ別ケ隔テオシタクナ集ニ努メルト云フコトニ致シマスレバ二十圓乃至二百圓ノ平均額ハ七十五圓デ行クカモ知レマセヌ、併シ我ニ希望シテ居ルコトハ極メテ小額ナルモノ入レタイ、極メテ若イヤウナ者、極メテ小サイ賃銀ヲ取シテ居ル者ヲ入レタイ、來マスル者ニ別ケ隔テオシタクナイ、通常保険ノ惠澤ヲ受ケ得ナイモノニ此保険ヲ及ボシタイト云フ考デアリマスカラシテ、其主義ニ依シテ唯今ノ主義ヲ貫徹シテ取リマスケレドモ、保険額ハドウシテモ下ガルト云フ計數ハ相當ノコトト思ヒマス、其結果保険料ハ上ガッテ來ルト云フコトニ歸著シマス

○荒井泰治君 サウ致シマスレバ政府ノ案ハ詰リ三百圓三百圓ト云フコトニ餘リ重キヲ置クノデナイガ、極メテ適當ナル保険料、今日御編立ニナツテ居ル平均七十五圓ヲ押ヘテ其程度ニ行キタイト云フノガ御精神アルヤウニ唯今拜聽イタシマシタガ、致シマスレバ此七十五圓ト云フモノハ凡ソ動カナイ程度ニ實際ガ在リ得タナラバ是ハソレヨリ下ガッテモ自然ソレニハ不同意ハナイト云フコトニ歸著シヤウト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

○政府委員(松本烝治君) チョット私ハ能ク伺ヒ兼ナシタデゴザイマスルガ、詰リ七十五圓ト云フ限度ヲ立テ居リマスルカラ丁度同シ計算テ同ジ方針デヤレバ最高限度

ルト云フコトハ屢々御言明ニナツテ居ル所ニアリマスルカラ、之ヲ御下ダニナルト云フコトニハ御不同意ハナイ譯デアル、併シ之ヲ下ゲレバ即チ此七十五圓ヲ中間トシテ押ヘタ保険料其他ノ使用ノ上ニ、即チ適當ナル保険料ヲ以テ下級民ノ保険ヲ満足サセタイト云フコトノ意思ニ反スルカラ、此三百圓モ從ダテ下ケナインデアルト云フ御言明デアラウ、即チ七十五圓ト云フ程度が縱シ二百圓ニ最高極度ヲ御下ケニナツテモ、實際ノ結果ガ七十五圓ニ來ル、若クハ其上ニ行クト云フ見据ガ付キ、又事實サウデアツタナラハ強ヒテ固執ナサルノデハアリマスマイト云フコトヲ伺シタノデアリマス

○政府委員(松本烝治君) 能ク分リマシタ、ソレハ先程實ハ申述ベタ積リデゴザイマシテ、此七十五圓ガ下ガッテ參ル結果保険料ガ上ガル是ハ困ルト云フコトハ一ツノ理由タルニ實ハ過ギマセヌ、先程確カモウツバカリ理由ヲ申述ベタト思ヒマスガ、即チ稍々高級ノ労働者ト認ムベキ者ハ、負擔ノ上カラ申シマシテモ二百圓迄ノ保険ニ這入り得ルコトが出來ヤウ、而シテ其取リマスル二百圓ノ金カラ見マシテモ、其位ノモノハ稍々高級ナル労働者ニ在ツテ必要デハナカラウカ、普通保険ニサウ云フ者ハ這入ツタナラハ宜カラウト云フ御考ガアリ得ルカモ知レマセヌガ、此月掛テ集金ヲスルト云フヤウナ手續、又是等ノ者ハ假令其場合ニハ高級ノ労働者デゴザイマシテモ、後ニ至リマシテ労働能力ヲ失ヒマシテ解約ヲシナケレバナラヌ、或ハ保険金額ノ減殺ヲ賴マナケレバナラヌト云フヤウナ色々ノコトヲ生ジ得ルト云フコトヲ考ヘマスルト、此保険ノ三百圓ニハ這入り得ル、併ナカラ通常保険ノ三百圓ニ這入リマシテハ不便ダ保険料ノ拂込ノ點カラ申シマシテモ、又解約ノ時ナドノコトヲ考ヘテ見マシテモ、通常ノ保険ニ這入ツテハ實際不便ダ、此保険ナラバ、斯ウ云フ簡易ナ、斯ウ云フ便法ガアレバ這入り得ルト云フ者ガアリ得ヤウ、斯ノ如キ者ハ矢張リ之ニ入レテヤルコトが必要デアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、此方ノ理由モアルノデ、強ヒテ七十五圓ガ下ガルト保険料ガ其爲ニ上ガルト云フコトダケヲ唯一ノ理由トシテ三百圓ト云フコトヲ固執シテ居ル次第テハゴザイマセヌ

○水野鍊太郎君 尚ホ一點遞信大臣ニ御伺ヒ致シテ置キタイト思ヒマスガ、簡易生命保険ニ付キテハ素ヨリ政府ニ於テモ一旦之ヲ發布シタ以上ハ成功ヲ期スルト云フコトハヤウナ得ナイコト思ヒマス、其勸誘ノ方法ニ付テ一つ伺ツテ置キタイト思フノデアリマスガ、勸誘ノ方法如何ニ依レバ大ニ民營事業ニ影響ラ來ス、打擊ラ來スト云フコトニナルノデアラウト思フ、政府ノ簡易生命保険ト云フモノハ極メテ鞏固デアル、又其手續モ極メテ簡易デアル、是ハ下級民ハ宜シク這入ルベキモノデアルト云フヤウナ趣意テ總テノ方面カラ説明シ獎勵シテ行カナケレバナラナイノデアルト思ヒマスガ、斯ルコトが假ニナイト致シマシテモ、官營ト民營ト競争スル場合ニ於キマシテハ、官營ノ方ガ勝ヲ制スルト云フコトハ無論ノコトニアラウト思フ、同シ貯蓄ノコトニ致シマシテモ例ヘバ利子ハ安クツモ民營貯蓄銀行ヨリハ政府ノ郵便貯金ノ方ニ金ノ集マルト云フコトハ、今日我國ノ現狀ニ於テハ當然ノコトト思フノデアリマス、ソレデアリマスルカラ民營事業ト官營事業ト相競争スル場合ニ於キマシテハ餘リ積極的ノ勸誘等ガナクシテモ官營ノ方ガ勝ツト云フコトハ普通ノ状態ト思フノデアリマス、之ニ加フルニ種々ノ方法ヲ以テ勸誘シタナラバ民營事

業ハ謂ハユル打撃ヲ受ケテ生存上困難ヲ來スト云フコトハ免レナイコトト思ノアリマス、殊ニ此勸誘ニ付キマシテハ或ハ官權濫用ノ虞レハナイデアラウカト云フヤウナコトモ能ク人ガ言フノアリマスガ、其方法如何ニ依リマシテハ其非難ヲ免ルルコトハ來ナイコトニナラウト思ヒマス、是ハ遞信省所管ニアリマスガ、遞信省ハドウ云フ方法デ勸誘ナサル御積リテアリマセウカ、例ヘバ是ハ地方官等ニ訓令ヲ出シテ、地方官ヲシテ勸誘セシムルト云フヤウナコトモナサルニアリマセウカ、地方官ノ勸誘ナドト云フモノハ餘ホド效力ノアルコトニアリマシテ、殊ニ警察官ナドヲシテ一言言ハシムレバ普通ノ寄附金ナドモ餘ホド能ク集マルト云フ状態ニアリマス、サウ致シマスルト其方法如何ニ依リマスト隨分他日非難モ起ルシ、非難ノ起ルノミナラズ事實ニ於テ民營事業が打撃ヲ受クルト云フコトニナリマスガ、是等ハ餘ホド深ク考慮ヲ要スルコトト思フノアリマスガ、遞信大臣ノ御考テハドウ云フ程度マデ、又ドウ云フ範圍ニ於テ勸誘シ得ルト云フ御考デアリマスカ、其點ヲ承リタ

○國務大臣(箕浦勝人君) 勸誘ノ方法ニ付キマシテハ民間ノ普通ノ保険會社が勸誘員ヲ設ケマシテ戸毎ニ就テ勸誘ヲ致シテ居ルト云フヤウナ左様ナ方法ハ一切用ヒナイ積リテゴザイマス、戸毎ニ勸誘員ヲ置キテ戸毎ニ就テ勸誘スルト云フヤウナコトハ一切用ヒマセヌ、或ハ機會ノアルト云フヤウナ左様ナ方法ハ一切用ヒナイ積リテゴザイマス、況ヤ警察官ナドヲ勸誘ノ手段ニ用ヒルナドト云フコトニハ十分努メ、知ラセルコトニ努メナケレバナリマセヌカラ、ソレ等ニ付テハ或ハ大勢人ノ集マシタ所デ、機會アレバソレヲ説明スルトカ、或ハ又書イタ物デ知ラセルコトモアリマセウシ、サウ云フヤウナ方法ハ用ヒマスガ、専門ノ勸誘員ヲ置キテ戸毎ニ就テ勸誘スルト云フコトハ一向イタシマセヌ、況ヤ警察官ナドヲ勸誘ノ手段ニ用ヒルナドト云フコトハ一切イタシマセヌ積リテアリマス、勿論度々繰返シテ申シマス通り、決シテ是ハ普通ノ保険トハ種類ノ違フモノニアリマシテ、普通ノ保険ノ及ハザル所ヲ補フノ趣意デアリテ、競争ト云フ意味テハナインニアリマスルカラ、故ニ其上ニ意ヲ用ヒレバ決シテ競争ト云フ趣意デモ、又競争ト云フ状態デモナイコト信シテ居リマス○山之内一次君 唯今水野君カラ御問ヒノ續キアリマスガ、此地方長官ナドニ地方官會議ノ時ニ御示シニナッテ、成ルベク此趣意ノ徹底スルト云フヤウナコトヲ御示シニナル、地方長官が又歸シテ郡長會議ノ時分ニ郡長ニ不シ、ソレカラ郡長ハ或ハ町村長會議ニ於テ一般ニ普ク瓦ルヤウニスルトカ云フヤウナコトノ方法が能クアルコトニアリマスガ、其中ニハ自然ニ特殊ナ勸誘ヲ含メル意味テヤラレルコトガ往ミアルノデスガ、矢張リサウ云フコトハナサル積リナンデセウカ

○國務大臣(箕浦勝人君) 今御話シニナリマシタヤウナコトハソレハアリマスガ、地方官ガ斯ウ云フ新法ヲ發セラレルニ付キマシテハ、或ル機會ニ其法律ノ趣意ヲ説明スルト云フコトハアリマセウケレドモ、併ナガラ強ヒテ之ヲ勸誘ト云フコトハ致シマセヌ、ソレデ例ヘ赤十字社ノ勸誘ヲスルトカ色ト仕方ガ是マデアリマスケレドモ、斯ウ云フ勸誘ト云フ形マニハ……性質マニハ及ビマセヌ、説明シテ知ラセルト云フコトハ或ル機會ニ於テシマス、是ハ簡易保険バカリデナシニ此後ハ一切ノ生命保険ト云フモノニ付キマシテモ、一般ニ其事ニ對シテ地方官ノ機會ノアル毎ニ言及スルコトモアルダラウト思ヒマスガ、無論此簡易保険ノコトニ付キマシテモ或ル機會ニ於テ説明ヲスルト云フコトニナルダラウト思ヒマス

○鎌田勝太郎君 私ハ今ノ續キヲ承リタ思ヒマスガ、此民營ト官營ト競争ニナリハセヌカト思フノハ募集ノ方法ニアリマスガ、唯今遞信大臣ノ御述ベニナリマシタノハ能ク分リマシタガ、併シ總テ大臣及本省ノ趣旨が端ニマデ事實ニ於テ行ハレスコトガ多イノデ、或ハ是ハ獨リ保険事業ノミナラズ現ニ租稅ヲ取ル上ニ於テモ地方デハ誅求誅求ト云ツテ居リマス、同ジ所得稅ヲ取ルニシテモ政府ノ趣旨ガ監督局、ソレカラ段々下ツテ行ツテ收稅署等ニ傳ツテ、收稅署ノ吏員ガ百人位地方ニ來テ喧シク云ツテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ決シテ大臣ノ意思デナイコトハ分ツテ居リマスガ、事實ノ上ニ於テサウ云フコトガ間ニアルノデアリマス、ソレテ此募集ノ遣方ト云フモノハ最モ大切ナコトデアラウト思ツテ居リマス、折角ノ大臣ノ意志ガ事實ニ於テ行ハレヌト云フコトガ事實往々アルト思ノデアリマス、此募集手數料ト云フノハ……此手數料ト云フノハドウ云フ人ガ受取ルハ臨時雇トシテ郵使局ニ置キテサセルノカ、又ハ一般ノ人ノ中誰デモ募集シテ來タ者ニハ是ダケノ手數料ヲヤル、即チ民間ノ保険會社が從來ヤツテ來テ居ルが如ク募集員ノ方デ事實シテ來タ者ニハ手數料ヲヤル、斯ウ云フ御考デアリマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒタ思ヒマス

○政府委員(松本烝治君) 此募集手數料ノ如キモノハ總ニ二等郵便局長ニ交付スル積リテアリマス、即チ何人が募集シテ來テモ手數料ヲ與ヘルト云フヤウナ趣意デハアリマセヌ、特別ノ募集員ノ如キモノ此事業ノ爲ニ使フト云フヤウナ考ハアリマセヌ、唯遞信局等ニ於キマシテ一二二ノ吏員ヲ置キマシテ、此簡易保険ノ趣旨ヲ説明サセテ歩カセルトカ、此簡易保険事業ニ三等郵便局ヲ巡回シテ歩クト云フヤウナ者ハ置ク積リテアリマスガ、其以外ニ募集員目的ノ者ヲ置クト云フ考ハ絶對的ナインニアリマス○鎌田勝太郎君 能ク分リマシタガ、然ラバ郵便局長が自分ノ手足ヲ使ツテ募集サセルト云フコトハドウデアリマスカ、現在保険會社ノ代理店ハ銀行トカ、地方ノ名望家ナドガヤツテ居ルガ、此人自身ハヤツテ居ラヌガ、保険會社カラ金ヲ受取ル其範圍ニ於テ他人者ヲ使役シテ募集サセテ居ルノデアリマスガ、サウスルト唯今政府委員ノ御説明ノ如ク郵便局長自身ハ募集ニ出ナイガ、人ヲ雇ツテ募集サセテ、其實政府カラ貰フ手數料ヲ其者ニ與ヘルト云フ事實ハアラウト思ヒマスガ、其事ハ許スノデアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 郵便局長が郵便局ニ用ヒテ居リマス郵便脚夫ノ類、斯ウ云フヤウナ者ヲ使ヒマシテ戸々ニ就イテ勸誘スル趣意デハアリマセヌガ、此事業ノ募集ト云フコトニ關係セシムルト云フコトハ勿論アラウト思ヒマス、此手數料ハ率コト大キク見エマスガ、平均額が七十五圓ト云フコトニナリマスカラソレニ對スル千分ノ六デゴザイマスカラ、其募集手數料ト云フモノハ極メテ小額デゴザイマシテ、之が爲ニ特ニ人ヲ雇ヒマシテモ此募集タルヤ極メテ困難デアリマス、普通保険ノ大キナ金額ノモノヲ保険ニ入レルコトヲ勸誘シテスラモ餘ホド困難ノコトデアリマスカラ、況シテ此下層社會ノ募集ヲスルト云フコトニアリマスカラ餘ホド困難ナコトト信ジテ居リマス、又此費用ヲ以テ人ヲ頼シテ募集ヲシテ歩カセルト云フコトハ困難ナコトト思ツテ居リマスガ、若シ此官紀上ノ取締ト致シマシテ色ミノ人ヲ雇ツテ募集サセルト云フヤウナコトヲヤリマシテ、其結果民業ト競争

シテヤルト云フヤウナコトガ萬一生ジタトシマスレバ是ハ見遁シテ置カヌ積リテ、斯ノ如キコ

トハサセナイト云フ趣意デゴザイマス
○鎌田勝太郎君 此募集手數料ハ僅ト仰シヤイマスガ、是ハ保険金額ニ對スル 千分ノ六トアリマスカラ、百圓ヲ募集シテ八十錢、三百圓ヲ募集シテ一圓八十錢、サウシテ片方ノ終身保険デ百圓ニ二十四錢アリマス、サウスルト三百圓ニ七十二錢掛ル、ソレテ第一回分ヲ掛ケレバ一圓八十錢ノ募集ノ手數料ヲヤルト云フコトニ見ラレマスガ、是等ノコトニ付テ民間ノ保険會社、從來能ク弊アルコトデアリマス、此弊ヲ除クニハドウ云フヤウナ方法ヲ以テ御防ギニナリマスカ、サウ云フコトが頻々トアッタ場合ニ國庫が損ラスルコト思ヒマスガ、其取締法ヲ承リタイ

○政府委員(松本烝治君) 三百圓ノ契約ニ對シテ一圓八十錢ヲ與ヘル積リテアリマセヌノテ、先程來申シマスヤウニ二十圓ノモノニモ千分ノ六、三百圓ノモノニモ千分ノ六ト云フ風ニ與ヘル積リテハナノアリマス、七十五圓見當テ千分ノ六ト云フ計算が出テ居ルノデ、三百圓ノ募集ニ對シテ一圓八十錢ヲ與ヘル積リテアリマセヌ、ソレハ御斷リ申シテ置キマスガ、唯今御話ノ弊害ハ此制度ヲ採ルニ付テハ大ニ考ヘタノアリマシテ、假ニ一圓八十錢與ヘナイデ一圓シカ與ヘナイトシテモ、八十錢シカ與ヘナイトシマシテモ尙ホ御話ノ如キ弊害ハ生ジ得ル譯デ、即チ七十二錢ノ拂込ヲサセマシテ、ソレニ對シテ八十錢ナリ一圓ナリ募集手數料トシテ與ヘマスト、通常保険ノ如キハ動モスレバ這入ル意志ノナイモノニ尙ホ一回ノ保険料ヲ立替ヘテ入レル、サウシテ此募集手數料ノ差額ダケヲ自分ガ利スルト云フコトガ起ルノアリマス、普通ノ保険ニ付テハ其弊ガアルヤウニ思ヒマス、此點ニ付テハ留意イタシマシテ決シテ一回ニ與ヘナイ、第一回ニ一小部分ヲ取ッテ與ヘル、第二回ニ一小部分ヲ與ヘル、第三回ニ又一部分ヲ與ヘルト云フ風ニ數回ニ分チマシテ、例ヘバ保険料ノ收入ガ十圓ナラ十圓アツタ場合ニ初メテ一圓八十錢ナラ一圓八十錢ノ募集手數料ガ三等郵便局長ノ手ニ歸スル方法ヲ執ラウト云フ考テゴザイマスカラ唯今ノ弊害ハ絶対ニヲ杜絕スルコト得ルコト信ジテ居リマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 如何デゴザイマスカ、皆サンニ御詰リ致シマスガ、是ヨリ逐條審議ニ移リマシテ、矢張リ大體ノ御質問ヲナサラムト欲スル御方ハソレニ關聯シテ出來ルコトト考ヘマス、此邊ノ所デ大體ノ質問ヲ打切りマシテ逐條審議ニ移リマシテハ如何デゴザイマセウ
(「異議ゴザイマセヌ」ト述フル者アリ)

○水野鍊太郎君 是ハ直接ノ御尋ニ御異議ゴザイマセヌヤウデアリマスカラ、是ヨリ簡易生命保険法案ノ逐條審議ニ移リマス、簡易生命保険法第一條「簡易生命保険ハ政府之ヲ管掌ス」之ヲ議題ニ供シマス

○水野鍊太郎君 是ハ直接ノ御尋ニ御異議ゴザイマセヌヤウデアリマスカラ、是ヨリ簡易生命保険法案ノ逐條審議ニ移リマス、簡易生命保険法第一條「簡易生命保険のトシテ居ルノデハナノアリマセウ、併ナガラ其事業ノ結果トシテ利益ヲ收メルト云フコトハ有リ得ルノアラウト思フノアリマスガ、サウ致シマスレバ矢張リ一種ノ國ノ營利事業ニナル、恰モ國ガ他ノ營利事業ヲ營ムガ如キ結果ト同一ニナルノアラウト思ヒマスガ、ソレハサウ云フ趣旨ニハ解セラレナインデアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 収益ノ目的デ此事業ヲ營ム即チ保険事業ヲ營ムト云フ趣意デハナイ、大體此法文ノ趣旨ヲ御話イタシタトキチヨット御説明ヲ致シマシタガ、若シモ収益ヲ目的トシテ此事業ヲヤルコトニナリマスレバ商法中ニアルコトニナリマスレバ商法中ニアリマスル規定が當然適用セラレマス、敢テ準用ト云フコトハ俟タナイノアリマス、サウデナク私法上ノ契約ニ依ッテ之ヲ營ミマスコトハ營ミマスガ、營利事業トシテヤルト云フ趣意デハナインデゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 第一條ハ條文ノ通り御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵林博太郎君) 御異議ナイト認メマス、「第二條簡易生命保険事業ハ保険會社之ヲ營ムコトヲ得ス」之ヲ議題ニ供シマス
○水野鍊太郎君 此趣旨ハ詰リ民營ノ保険會社ハ簡易保険ヲ營メナイ、斯ウ云フ意味デアラウト思ヒマスガ、之ニ依ッテ詰リ國ノ獨占事業タルコトヲ示シタモノト思ヒマスガ、從來許可ヲ得テ居ル所ノ三百圓以下ノ保険ニアリマス、是ハ固ヨリ其保険タル、第五條ノ如キ規定ガアリマセヌカラ謂ハユル簡易生命保険ナニ斯ウ云フ解釋ニナルコトデアラウト思ヒマスガ、若シ從來三百圓以下ノ保険營業ヲナシテ居ルモノガ被保險者ノ身體検査ヲ行ハズシテ保険事業ヲ營ムト云フヤウナコトガアッタナラバ、ソレハ此條文ノ效果トシテ禁ジナケレバナラヌコトニナルノアリマスカ、保険ノコトハ餘り悉シク知リマセヌガ、サウ云フ趣旨デアルノアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 従來ノ會社が無検査デ三百圓以下ノ保険ヲ營ムコトハ保険業法上出來マセヌ、即チ保険業法上如何ニシテ保険契約ヲ取結ブカト云フコトハ矢張リ免許ヲ得テ居リマスル事業方法中ニ記載ガシテゴザイマスカラ、之ヲ變更シマセヌケレバ出來マセヌガ、若シソレ變更セズシテヤルコトシマスレバ保険業法上ノ制裁ヲ受ケマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 第一條モ條文通リテ御異議ゴザイマセヌカ……御異議ナイト認メマス、第三條「簡易生命保険ニ於テハ政府カ保険契約者又ハ第三者ノ生死ニ關シ保険金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ保険契約者カ對償トシテ政府ニ保険料ヲ支拂フヘキコトヲ約スルモノトス、簡易生命保険ノ種類、被保險者ノ年齢、保険料及被保險者ノ爲ニ積立ツヘキ金額ノ計算ノ基礎ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」之ヲ議題ニ供シマス
○小松謙次郎君 此保険料ハ既ニ規定が出來テ居ルコト思ヒマスガ、是カラ作ラルル譯デアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 此勅令デゴザイマスカ

○小松謙次郎君 勅令デハナイ、保険料其モノ……

○政府委員(松本烝治君) 保険料ノ計算デゴザイマスカ

○政府委員(松本烝治君) ソレハ或程度マテ出來テ居リマス、確カ御参考ニ供シタ表ニ……全部ハ勿論御参考ニ供シタ表ニゴザイマセヌガ、表ニ載シテ居ツタコト思ヒマス

○小松謙次郎君 是ハ表ヲアトテ拜見イタシマス

○政府委員(松本烝治君) 表ヲ御目ニ掛ケマス

○鎌田勝太郎君 政府委員ニ質問ノ前ニ委員長ニ御尋シタイノデアリマスガ、先刻カラ御宣告ガ一條ハ異議ガナイカ一條ハ異議ガナイカト云フコトデアリマスガ、唯今ハ質問ノ場合デハナインデゴザイマスカ、議決ヲナサレタノデゴザイマスカ、別ニ質問ハナイト云フコトニ付テノ御意味デハゴザイマセヌカ、念ノ爲ニ伺ヒマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 質問ハナイト云フ意味ニ御解釋ヲ願ヒマス
○富井政章君 ソレナラバ私ハ急グ譯ニアリマセヌケレドモ、三箇條ツツ位御ヤリニナッテハ如何デゴザイマスカ

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵林博太郎君) ソレデハ左様ニ進行イタシマス、第三條ハ御質問ハゴザイマセヌカ

○男爵長松篤棐君 チヨット伺ヒタイノデアリマスガ、被保險者ノ年齢ヲ十二年ヨリ六十一年ニサレタノハ何カ理由ガゴザイマスカ
○政府委員(松本烝治君) 通常生命保険ニ於キマシテハ十五年ニ始マルコトニシテ居リマス、併シ工場法ニ於キマシテ十一歳以上ノ労働者ヲ認メテ居リマスカラ、斯ノ如キ少年労働者ガ之ニ依テ矢張リ保険ニ入ルコトガアリハシナイカト云フコトヲ考ヘマシテ十五年ヲ十二年ト云フコトマデ擴張シテ居リマス、其以外ニ於テハ大體通常保険ト同ジコトデアリマス

○男爵長松篤棐君 モウ一ツ伺ヒマスガ、唯今徵兵保険或ハ生存保険……徵兵保険ニ於キマシテハ十五年以上ニナッテ居リマス、是ガ十二年トナリマスルト徵兵保険ナドハ之ガ爲ニ蒙ムル影響ハナインデアリマスカ、其邊ニ付テノ御調ハアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 徵兵保険ハ通常十五年以下生レタマデト云フコトニナッテ居リマス、事實ニ於テ申シマスルト、生レタ時カラシテ二三年マデノ間ニ殆ド大部分這入ツテ仕舞ヒマス、七歳以上ニナリマシテ徵兵保険ニ這入ル者ハ絶無ト言ツテ宜シイコト

○政府委員(松本烝治君) 徵兵保険ハ生存保険ニ近イ性質ヲ有ツテ居リマスカラ、十五年位ニナリマシテ二十一年満期ノ徵兵保険ニ這入リマスト掛金が殆ド餘ホド高イモノニナリマス、非常ニ多額ニナリマスカラ從ツテ七歳以上ニテ這入ル者ハナイサウデアリマス、茲ニ於テカ十二年以上ト云フコトニ定メアリマスレバ年齢ノ點ニ於テモ毫モ衝突ハゴザイマセヌ、又コチラノ保険モ死亡保険ダケニ限ツテ居リマス、徵兵保険ト生存保険ハ全ク性質が違ヒマス、此點カラ何等接觸スル點ハナイト信ジマス

○鎌田勝太郎君 此第二條ニ書イテアル所ノ規定ノ外ニ確カ一昨年ダックカ、昨年ノ春デアッタカ簡易保険三關スル法律規則ノ草案小口保険調査決議ノヤウナモノヲ頂戴シタヤウニ記憶シマスガ、其時分ニ外ニ甚ダ忙シクテ調べテ居ラズ、今回調べタ所ガ見エナイガ、餘分ガアルナラバ頂戴シタイト思ヒマス

○政府委員(松本烝治君) 承知イタシマシタ

○委員長(男爵林博太郎君) 第二條ニ付テハ御質問ゴザイマセヌカ

○小松謙次郎君 保険料ニ關スル書類ハ何レ拜見ヲ許サレルノデ恐ラク頂戴が出來

スノデアラウト思ヒマス、承ル所ニ依ルト確力保険料、支拂フベキ保険料ニ依ギ保険金ヲ支拂フト云フ譯テ、普通ノ保険ノ仕方トハ幾ラカ趣ガ違ツテ居ルヤウニ何カ機會デ

伺ツタヤウニ思ヒマスガ、若シ左様デアリマスレバ一一ノ例ヲ茲テ御示シニナリマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ナ仕組ナモノデアルト御聞カセ下サルコトニ願ヒタイト思ヒマス、二十歳、四十五圓デアリマスカ、ノ例ハ一十七錢ト書イテアルヤウデアリマスガ、其他ノ一二ノ例ヲ御示シ下サツタナラバ様子ガドンナモノダト云フコトガ分ル

○政府委員(松本烝治君) 今說ノ通り保険金百圓ノ者ハ何歳ナラバ保険料幾ラト云フコトニ致シマセズ、保険料ニ端數ガ出マシテ徵集ニ困難ヲ感ズルコトガ多ウゴザイマスカラ、保険料ノ方ヲ端數ノナイモノニシ、ソレニ對スル保険金幾ラニナルト云フコトニ致シテ居リマス、其結果トシテ三十歳デ終身デアルト云フコトデアリマスト十錢ニ對シテ四十圓、十八錢ニ對シテ七十五圓ト云フヤウナ數ニナリマス、其結果其年齢ニ付テハ例ヘバ十錢ニ對シテ幾ラ何圓何十錢ト云フヤウナ端數ノ保険金額ヲ得ルノデアル、尙ホ細カイコトハ表ヲ後テ御目ニ懸ケルコトニ致シマス

○小松謙次郎君 三百圓近クノ所ヲチヨト御願ヒタイ

○政府委員(松本烝治君) 三百圓ニ付テハ終身ダト七十二錢、二十年満期ダト一圓三十五錢ト云フコトニナリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 第二條ニ御質問ゴザイマセヌカ……アリマセヌケレバ其次ノ第四條ヨリ第十條マデノ間ニ於キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○小松謙次郎君 第八條ノ規定ノ中ニ削減期間ノ規定ノ中ニ削減期間ノ規定ノ中ニ

防法ノ謂ハユル傳染病ニ限リマシタ理由ハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 詰リ災害又ハ傳染病ノ如キモノハ到底豫メ豫期スルコトノ出來ナイモノデアリマスルカラ、之ニ對シテ死亡ヲ致シマシテ病氣ニナルグラウト云フ……

病氣デ死ヌグラウト云フコトヲ豫期シテ這入ルト云フ弊害ハナイ、斯ノ如キモノハ不時ノ災害デゴザイマスカラ金額ヲ支拂ヒタイト云フ趣意デゴザイマス

○小松謙次郎君 尚ホ續イテ伺ヒタイ、是ハ私ハ其邊ノコトハ能ク精シク承知シテ居ニナツテ居ルサウデゴザイマス、其理由ハ徵兵保険ハ生存保険ニ近イ性質ヲ有ツテ居リマスカラ、十五年位ニナリマシテ二十一年満期ノ徵兵保険ニ這入リマスト掛金が殆ド餘ホド高イモノニナリマス、非常ニ多額ニナリマスカラ從ツテ七歳以上ニテ這入ル者ハナイサウデアリマス、茲ニ於テカ十二年以上ト云フコトニ定メアリマスレバ年齢ノ點ニ於テモ毫モ衝突ハゴザイマセヌ、又コチラノ保険モ死亡保険ダケニ限ツテ居リマス、徵兵保険ト生存保険ハ全ク性質が違ヒマス、此點カラ何等接觸スル點ハナイト信ジマス

○鎌田勝太郎君 此第二條ニ書イテアル所ノ規定ノ外ニ確カ一昨年ダックカ、昨年ノ春デアッタカ簡易保険三關スル法律規則ノ草案小口保険調査決議ノヤウナモノヲ頂戴シタヤウニ記憶シマスガ、其時分ニ外ニ甚ダ忙シクテ調べテ居ラズ、今回調べタ所ガ見エナ

イガ、餘分ガアルナラバ頂戴シタイト思ヒマス

○政府委員(松本烝治君) 承知イタシマシタ

○委員長(男爵林博太郎君) 第二條ニ付テハ御質問ゴザイマセヌカ

○小松謙次郎君 保険料ニ關スル書類ハ何レ拜見ヲ許サレルノデ恐ラク頂戴が出來

ド支拂フト云フ譯テ、普通ノ保険ノ仕方トハ幾ラカ趣ガ違ツテ居ルヤウニ何カ機會デ

伺ツタヤウニ思ヒマスガ、若シ左様デアリマスレバ一一ノ例ヲ茲テ御示シニナリマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ナ仕組ナモノデアルト御聞カセ下サルコトニ願ヒタイト思ヒマス、二十歳、四十五圓デアリマスカ、ノ例ハ一十七錢ト書イテアルヤウデアリマスガ、其他ノ一二ノ例ヲ御示シ下サツタナラバ様子ガドンナモノダト云フコトガ分ル

○政府委員(松本烝治君) 今說ノ通り保険金百圓ノ者ハ何歳ナラバ保険料幾ラト

云フコトニ致シマセズ、保険料ニ端數ガ出マシテ徵集ニ困難ヲ感ズルコトガ多ウゴザイマスカラ、保険料ノ方ヲ端數ノナイモノニシ、ソレニ對スル保険金幾ラニナルト云フコトニ致シテ居リマス、其結果トシテ三十歳デ終身デアルト云フコトデアリマスト十錢ニ對シテ四十圓、十八錢ニ對シテ七十五圓ト云フヤウナ數ニナリマス、其結果其年齢ニ付テハ例ヘバ十錢ニ對シテ幾ラ何圓何十錢ト云フヤウナ端數ノ保険金額ヲ得ルノデアル、尙ホ細カイコトハ表ヲ後テ御目ニ懸ケルコトニ致シマス

○小松謙次郎君 三百圓近クノ所ヲチヨト御願ヒタイ

○政府委員(松本烝治君) 三百圓ニ付テハ終身ダト七十二錢、二十年満期ダト一圓三十五錢ト云フコトニナリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 第二條ニ御質問ゴザイマセヌカ……アリマセヌケレバ其次ノ第四條ヨリ第十條マデノ間ニ於キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○小松謙次郎君 第八條ノ規定ノ中ニ削減期間ノ規定ノ中ニ削減期間ノ規定ノ中ニ

防法ノ謂ハユル傳染病ニ限リマシタ理由ハドウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 詰リ災害又ハ傳染病ノ如キモノハ到底豫メ豫期スルコトノ出來ナイモノデアリマスルカラ、之ニ對シテ死亡ヲ致シマシテ病氣ニナルグラウト云フ……

病氣デ死ヌグラウト云フコトヲ豫期シテ這入ルト云フ弊害ハナイ、斯ノ如キモノハ不時ノ災害デゴザイマスカラ金額ヲ支拂ヒタイト云フ趣意デゴザイマス

○小松謙次郎君 尚ホ續イテ伺ヒタイ、是ハ私ハ其邊ノコトハ能ク精シク承知シテ居ニナツテ居ルサウデゴザイマス、其理由ハ徵兵保険ハ生存保険ニ近イ性質ヲ有ツテ居リマスカラ、十五年位ニナリマシテ二十一年満期ノ徵兵保険ニ這入リマスト掛金が殆ド餘ホド高イモノニナリマス、非常ニ多額ニナリマスカラ從ツテ七歳以上ニテ這入ル者ハナイサウデアリマス、茲ニ於テカ十二年以上ト云フコトニ定メアリマスレバ年齢ノ點ニ於テモ毫モ衝突ハゴザイマセヌ、又コチラノ保険モ死亡保険ダケニ限ツテ居リマス、徵兵保険ト生存保険ハ全ク性質が違ヒマス、此點カラ何等接觸スル點ハナイト信ジマス

○鎌田勝太郎君 此第二條ニ書イテアル所ノ規定ノ外ニ確カ一昨年ダックカ、昨年ノ春デアッタカ簡易保険三關スル法律規則ノ草案小口保険調査決議ノヤウナモノヲ頂戴シタヤウニ記憶シマスガ、其時分ニ外ニ甚ダ忙シクテ調べテ居ラズ、今回調べタ所ガ見エナ

イガ、餘分ガアルナラバ頂戴シタイト思ヒマス

○政府委員(松本烝治君) 承知イタシマシタ

○委員長(男爵林博太郎君) 第二條ニ付テハ御質問ゴザイマセヌカ

○小松謙次郎君 保険料ニ關スル書類ハ何レ拜見ヲ許サレルノデ恐ラク頂戴が出來

ド支拂フト云フ譯テ、普通ノ保険ノ仕方トハ幾ラカ趣ガ違ツテ居ルヤウニ何カ機會デ

伺ツタヤウニ思ヒマスガ、若シ左様デアリマスレバ一一ノ例ヲ茲テ御示シニナリマシテ、サウシテ斯ウ云フ風ナ仕組ナモノデアルト御聞カセ下サルコトニ願ヒタイト思ヒマス、二十歳、四十五圓デアリマスカ、ノ例ハ一十七錢ト書イテアルヤウデアリマスガ、其他ノ一二ノ例ヲ御示シ下サツタナラバ様子ガドンナモノダト云フコトガ分ル

○政府委員(松本烝治君) 今說ノ通り保険金百圓ノ者ハ何歳ナラバ保険料幾ラト

云フコトニ致シマセズ、保険料ニ端數ガ出マシテ徵集ニ困難ヲ感ズルコトガ多ウゴザイマスカラ、保険料ノ方ヲ端數ノナイモノニシ、ソレニ對スル保険金幾ラニナルト云フコトニ致シテ居リマス、其結果トシテ三十歳デ終身デアルト云フコトデアリマスト十錢ニ對シテ四十圓、十八錢ニ對シテ七十五圓ト云フヤウナ數ニナリマス、其結果其年齢ニ付テハ例ヘバ十錢ニ對シテ幾ラ何圓何十錢ト云フヤウナ端數ノ保険金額ヲ得ルノデアル、尙ホ細カイコトハ表ヲ後テ御目ニ懸ケルコトニ致シマス

○小松謙次郎君 三百圓近クノ所ヲチヨト御願ヒタイ

○政府委員(松本烝治君) 三百圓ニ付テハ終身ダト七十二錢、二十年満期ダト一圓三十五錢ト云フコトニナリマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 第二條ニ御質問ゴザイマセヌカ……アリマセヌケレバ其次ノ第四條ヨリ第十條マデノ間ニ於キマシテ御質問ヲ願ヒマス

弊害ヲ生ズル虞レガアリハシナイカ、醫師ノ診斷書ノ如キハ、或ル程度マテハ信用シテ宜シイモノニアリマスガ、傳染病アル、或ハ災害アルト云フコトハ公ケニ認メルコトデ、是ハ公ケニ認メラレテ差支ナイ……間違ヒナイト認メテ差支ナイガ、或ハ中氣デアルトカ何トカ云フヤウナコトニ付アドウモ公ケニ認メテ居ル確實ナル證據ヲ求メタクイ、之ヲ求メムト欲スレバ動モスレバ其爲ニ弊害ヲ生ズル、保險金ガ全部取レルカ取レヌカト云フコトニナルト弊害ヲ生ズル虞レガアル、其弊害ヲ生ズルコトハ甚ダ忌ムベキコトデアルカラト云フ所カラ此一ツニ限リマシタ、所ガ色ニ意見ガアリマシテ衆議院議員ノ鈴木萬次郎君ノ如キハ中氣ノ如キモノハ是非是ハ入レテ貰ヒタイト云フ話ガアリマシタ、此外ノ病氣ハ兔モ角トシテ、中氣ノ如キハ分リ宜イカラ入レテ貰ヒタイト云フ話ガアリマシタガ、我ミノ見ル所デハ此削減期間ハ契約後二年ノ間ニ死ヌト云フコトデアリマス、中氣ニ對シテハ多クハ老年ニ至ツテ發スルモノニアリマスカラ、此保險ニ這入リマシテ一年前ニ中氣ニ死ヌト云フコトハ實際上極メテ少イ、此少ナイモノヲ一ツ入レル爲ニ、少イモノヲ救フ爲ニ中氣ト云フモノヲ入レマスト、動モスルト前ニ申シタヤウナ弊害が生ズル虞ガアルト云フ考デ中氣セ認メナイト云フコトニ致シマシタ

○富井政章君 私ハ簡易保險ノコトハ是マデ少シモ調べテ居リマセヌノテ極メテ幼稚ナ質問ヲ致スカモ知レマセヌガ、此案ヲ見マスニ商法ノ規定ト云フモノハ當然適用ノナイモノト見エテ、適用スベキモノハ第三二十四條デアリマシタカ、明文ヲ設ケテ特ニ示ス、斯ウ云フ立前ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、外國ノ立法例ニハサウニ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 外國ニハ簡易生命ダケニ付テノ特別法ト見ルベキモノハ先ツナイヤウニ考ヘテ居リマス、少ナクトモ我ミノ承知シテ居リマスヤウナ模範的ノモノトシテハ存在シテ居リマセヌ、即チ民間、政府等デアリマシテモ矢張リ通常保險法ノ適用ヲ受ケルコトニナツテ居リマス

○鎌田勝太郎君 第七條契約ノ效力ノ發生期ヲ御尋スルノデアリマスガ、此條文ニ依リマスト保険證書作成ノ日ニ始マルト云フノアリマス、是ハ本員が曾テ聞キマシタノハ通常ノ保險會社ニ於テハ、保險契約ノ決定、即チ申込ガアツテ、其書類ヲ本社へ持ツテ來テ專務取締役トカ其主腦者ガ決判ヲシタ、即チソレテ契約ノ效力が始マルノデアル、斯ウ云フヤウニ聞いて居ルノアリマス、然ラザレバ此證書作成ト云フコトト、決判ヲシテ即チ契約ノ承諾、一方カラ申込シテ相手方が承諾シタ時分が契約ノ成立ト云フモノデアル、故ニ其時分ニ始マルサウデアルガ、其證書作成ノ日ニ始マルト云フコトニ極メルト云フト此處テ極シタ時分ト證書が出來ル間、若シ是が午後ノ三四時頃、即チ退廳前ニ決判ヲスル、證書ノ作成ハ明日ニナル、其期間ニ死ネバ無效ニナル、斯ウ云フヤウナコトニナル譯テアリマスガ、從來ノ保險會社デハ、決判ガ即チ契約成立ノ時ニナツテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデゴザイマスガ、ソレハ實際サウデゴザイマスカ、又若シサウトスレバ是デハ少シク被保險者ニ不利益デハナイカト思フノアリマスガ、其點ヲ……

○政府委員(松本烝治君) 通常保險會社ノヤリ方ト致シマシテハ契約ノ成立ハ決判ノ時決メマセウ、併ナガラ決判ガ何時アルト云フコトハ争ヒガ生ジ得ルコトデゴザイマシテ不便デゴザイマスカラ、保險會社ハ約款ヲ必ズ規定イタシマシテ本會社ノ責任ハ第

一回保険料領收ノ時ニ始マルト云フコトニ致シテ居リマス、即チ決判ヲシマシテ契約ハ成立シテ居リマシテモ效力ハ發生シテ居ラズ、第一回ノ保険料ヲ受領シタ時デアリマス、其受取證ニ依テ何時受領サレタカト云フコトガ分リマス、其時カラ效力が始マルト云フトニ保險會社ハ致シテ居リマス、然ルニ此官營保險ニ於キマシテハ、第一回保険料ハ必ズ申込書ト共ニ之ヲ納メシムルコトニシテ居リマスカラ、效力ハ何時始マルカト云フコトニ付キマシテ、決判スル時ニスルカ、或ハ保險證書ノ日付ニスルカト云フ問題ヲ生ズル、然ルニ決判ノ時ガ何時デアツタト云フコトガ、官廳ノ内部ノコトデ外部ノ者ハ知リ得ナイコトデゴザイマスカラ、斯ノ如キ不確實ナルコトニ定メマシテハ困ルコトガアルノア、保險證書作成ノ日トスレバ、則チ其日附ニ依ル、而シテ其作成ハ決判後直チニ作成スル、決判ヲスル日附ニ作成スルト云フ趣意ニ、實際取扱フコトノ考デゴザイマス

○水野鍊太郎君 此六條ニ依リマスト保険證書ニ記載スベキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、其命令ト云フノハ此處ニ出來テ居リマス簡易生命保險規則案デアラウト思ヒマス、其十三條ニ依リマスト、其中ニ保險契約ヲ締結スル者ハ左ノ事項ヲ記載スベシト云フコトガアリマスカ、其中ニ被保險者ノ現在及既往ノ重モナル疾患ノ有無及病名經過ト云フコトガアリマス、被保險者ノ現在及既往ノ重モナル疾患ノ有無及病名經過ハ、隨分下級民ナドニ對シマシテハ往々不明ナルコトモアラシ、又知テ居リマス言ハヌコトモアリセウシ、種々審査ノ上ニ困難ナコトモアラウト思ヒマスカ、假ニ此記載ニ虚偽ノ記載ガアル、事實デナイ記載ガアル、既往ニ重大ナ疾患ガアツタニモ拘ラズ、疾患ナシト書イテアルト云フヤウナ場合、斯ル場合ニハ此何條カニ依リマシテ、詐欺ニ依テハナイノアリマスカ、ソコハ如何デアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 此申込書ニ書カシマス現在及既往ノ重モナル疾患ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ更ニ内規ヲ設ケマシテ、極メテ制限ヲシヤウト云フコトヲ考ヘテ居リマス、即チ既往ニ付テハ結核病トカ大手術ノ如キモノヲ書キマス、現在ノ疾患ニ付テハ先ツニ多少ノ範圍ヲ擴メルコトニ致シタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、從ツテ之ニ付テ大ナル問題ヲ生ズル場合ハ實際上餘リナカラウト考ヘマスガ、若モ詐欺トカ云フ方ノコトデヤツタト云フコトヲ證明ガ出來マスレバ勿論其適用ガアリマセウ、併ナガラ先ツ詐欺ノ意思ヲ以テ即チ契約ヲ締結セシムトスル意思デ何カ詐述デモ致シテヤルト云フコトガ、證明ノ出來ル場合ハ極メテ少カラウカト思ヒマス、尙ホ附ケテ御話ヲ申上ゲマス、別ニ告知義務違犯ト云フコトヲ證明ガ出來マスレバ勿論其適用ガアリマセウ、併ナガラ先ツ又ハ重大ナル過失ニ因ツテ虛偽ナコトヲ告ゲマシタナラバ、又告ゲベキコトヲ告ゲマセヌ場合ニハ、五年間契約ヲ解除スルコトヲ得ルノデゴザイマス、此點ニ付テハ證據ガ中ニムツカシイコトニナリマス、惡意又ハ重大ナル過失ト云フコトヲ證明ノ出來ル場合ニ限リテヤルコトニナリマス、先ツ是等ノ規定ノ適用ヲ見ルコトハ極メテ罪跡顯著デアル場合ニ限リヤウト云フコトノ考デゴザイマス

○水野鍊太郎君 ソレハ其通リアルト私モ考ヘテ居ル、殊ニ商法四百一十九條ノ規定ノ如キモアルガ、唯事實ガ既往ニ重モナル疾患ハ確カニアツタ、肺結核ニ罹ツタ若ク

ハ現在肺結核或へ重大ナル疾患ニ罹リテ居ルガ、無論所謂無診査デアリマス、保険契約ヲスルニ醫者ニ診テ貴フノデモナイ、又政府が醫者ニ診セルノデモナイ、殊ニ下級民デアリマスカラドンナコトガアッタカ知ラヌト云フコトデ書カヌコトモアリマセウ、詐欺ノ意思デヤツタカ否ヤト云フ事實問題、詐欺ノ意思ヲ以アヤツタト云フコトニナレバ、唯今ノ御説ノ如クソレハ無效ニナルカ、解約ノ原因ニナルノデアリマセウ、サウ云フコトニアラズシテ、唯事實、其事ハアッタケレドモ、其事ヲ書カナカッタト云フヤウナ場合ニナリマシタラバ、是ハ法律論トシテ御聽キスルノデアリマス、サウ云フ時ニ其契約ハ有效トシテ認メ得ラレルコトニナルノデアリマセウカ、ドウデアルカト云フコトデ……

○政府委員(松本泰治君) 斯ノ如キ場合ハ有效ト認メナケレバナルマイト思ヒマス、惡意又ハ重大ナル過失ニ依ツタト云フコトガ分ラナイ、其證明が出來マスレバ告知義務ノ適用ガアリ得ルノデアリマス

○水野鍊太郎君 ソレデアリマスレバ寧ロ規則ノ十二條ノ七ナドハ、却ジテ爭議ノ基ヲナスモノデアリマスカラ、斯ウ云フモノハ寧ロナイ方が宜イデハナイカ、寧ロ無診査デアリマスカラ、病人ガ這入シテモ差支ナイ、一々検査ハシナインデアリマスカラ、サウ云フヤウナコトハ書カサズニ置ク方ガ、争ヒノ種ヲ惹起サナイヤウナコトニナリハシナイカ、商法四百二十條ノ適用若クハ準用デアリマスレバ、ソレハ實際ノ問題ニ付テ決スルノデアリマスガ、却ジテ十三條ノヒト云フモノガアリマスト、實際ニ於テ問題が隨分起り易イヤウニナシ、政府竝ニ被保險者雙互ノ不利益ニナリハシナイカト思ヒマスガ、ソレニ付テ斯ル規定ハ寧ロ止メヤウト云フ御考ハナノデアリマスカ

○政府委員(松本泰治君) 是ハ止タル意思ハザイマセ、其理由ハ此告知義務違犯或ハ法律第何條デゴザイマシタカ、詐欺ニ依ル契約ハ無効トスルト云フ規定ノ適用ノ範圍ハ、餘程極端的ニ向ウノ惡イ時ノミニ生ズルノデ、是デ紛擾ヲ生ズルコトハ先ツ極メテ稀ナルモノト見ナケレバナラズ、而シテヲ削リ去ルト云フコトニ依ツテ非常ナル不利益ヲ生ジマスノハ、第一ニ病人デモ何ニモ構ハズ入レルト云フコトニナリマスカラ、削減期間ヲ設ケマシテモ死亡率が増シテ來ル虞レガアリマスノミナラズ、病人ガ這入ル保険デアルト云フコトニナリマスルト、少シ考ノアル健康者ハ、寧ロ健康者ノミノ負擔ニ依ツテ病人ガ樂ラスル保険ト云フコトニ考ヘマシテ、其結果ト致シマシテ病者、病弱者ノミガ這入シテ來テ、健康者ハ却ジテ忌避スルト云フ虞ガゴザイマス、其趣意ニ於テ、ドウシテモ或程度ニ於テ制限ト云フコトハ必要デゴザイマス、是ハ何レノ國ノ簡易保険ニ於テモ大ニ選擇ヲ致シマス、外國ニ於テハ此制度ヨリモット強イ選擇ヲ致シマス、併ナガラ我ニハ成ルタケ簡單ニシテ紛議ナドフ起サナイヤウニシタイト云フコトヲ考ヘマシテ、此選擇ノ範圍ハ外國ノ例ヨリモ寧ロ簡單ナル方法ニ依ツテ選擇スルト云フ趣意アザイマス

○水野鍊太郎君 今一ツ伺ヒタインデアリマスガ、是ハ八十條ノ内ノコトデハナノデアリマスガ、此簡易生命保険契約ハ一ツノ民事上ノ契約デ、民法上ノ契約デアラウト思フノデアリマスガ、先刻來ノ御説明ニ依ルト一年以上ノ者ハ保険契約ヲナスコトヲ得ルトアルヤウデアリマス、例ヘハ十二歳ノ労働職工者ガ自ラ保険契約ノ當事者トナシテ契約ヲ結ビ得ルノデアリマスガ、民法等ノ關係、サウ云フヤウナ場合ニハドウ云フコトニアリマスカ

○政府委員(松本泰治君) ソレハ民法ノ規定ニ依リマシテサウ云フコトハ出來ナイ、

殊ニ此特定ノ場合ノ外ハ完全ニヤルコトハ出來ナイト云フコトニ歸著シヤウト思ヒマス、○水野鍊太郎君 サウ致シマスルト民法ノ規定ニ依ツテ、民法上ノ契約ヲナシ得ル能力ニ達セザル者ハ生命保険契約者タルコトハ出來ナイ、被保險者タルコトハ出來ルケレドモ、自ラ保険契約ヲスルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ趣意アリマスカ

○政府委員(松本泰治君) サウデハゴザイマセヌ、法定代理人ニ依ツテ自己ノガ主體ニナルコトハ勿論差支アリマセヌ

○水野鍊太郎君 サウデスカ、モウ一ツ伺ヒタインデアリマスガ、此九條ニハ「保険契約者カ保険金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定セサルトキハ被保險者ヲ以テ保険金額ヲ受取ルヘキ者トス」等十條ニハ「保険金額ヲ受取ルヘキ者カ第三者ナルトキハ其第三者ハ當然保険契約ノ利益ヲ享受ス」トアリマスガ、其保険契約ノ利益ヲ享受スルト云フ意味ハ言葉ヲ換ヘテ云ヘバ保険金額ヲ受取ルベキ者トス、斯ウ云フ意味ト同シ範圍アリマスカ、其範圍ハ達フコトニナリマスカ

○政府委員(松本泰治君) 第十條ノ意味ハ其第三者ハ即チ保険金額ヲ受取ル權利ヲ持ツト云フ譯アリマシテ、此民法デハ契約ニ依リ第三者ハ特別ノ利益ヲ享受スルト云フコトヲ必要トシテ居リマスガ、此場合ハソレヲ必要トシナイト云フ趣意ヲ明カニスルダケノ趣意テ十條ヲ規定シテ居リマス

○富井政章君 私ハ先程外國ノ立法例ヲ伺シタノデアリマスガ、チヨシト簡易生命保険ニ當ル例ハナカ知レマセヌガ、是ニ似寄ツタモノハ獨逸佛蘭西ナドニハ隨分アルト思ヒマス、労働者トカ海員、水夫トカ云フヤウナモノノ爲ニ或ル程度マテ強制的ニ保険ヲ附ケテ居ルヤウナ法律ガアルト思ヒマスガ、サウ云フモノハドウナシテ居ルカ伺シタノデアリマス、ソレカラスレハドウシテモ當然商法ノ適用ヲ受ケルモノデナイト云フ理由ハ、昨日チヨット御話ガアッタヤウニ思ヒマスガ、尙ホモワ一應私ニハ能ク分ツテ居チカッタノデモウ一應明瞭ニ伺ヒタク、ソレハ政府ハ營利ノ目的ヲ以テヤルノデナイカラト云フ所ニアルヤウデアリマスガ、契約ソレ自身ハ政府ガヤツテモ誰ガヤツテモ同ジコトデアツテ、政府ガヤツカラト云シテ、他ノ海陸軍ト云フヤウナ、純然タル國務トハ餘程性質が違ツテ居ルヤウニ思ヒマス、商法ニ掲ゲテアル生命保険ノ定義ナドヲ見テモ現ニ法律ニ載シテ居ルノト殆ド違ツテ居ナイヤウニ思フノデアリマス、ソレカラ保険金額ガ少イトカ、身體検査ヲ行ハナイト云フヤウナコトハ是ハ方法ノ問題デ、性質ノ問題デハナイト思ヒマスガ、結局マアドウ云フ所ニ此保険ノ本質ハ商法ノ適用ヲ受ケルモノデハナイ……ソレ故ソレヲ土臺トシテ特ニ適用スベキモノダケハ準用トシテ明文ヲ置クト云フ立テ前ヲ御採リニナツタカ其理由ヲ伺ヒタ

○政府委員(松本泰治君) 勞働者保険法ヲ調査シマシテ、印刷シマシタ材料ハゴザイマセヌガ、是ハ他ニ色ニ調査ヲシマシタモノガゴザイマスノデ、或ル程度マテ御目ニ懸ケルコトが出來ヤウト考ヘテ居リマス、併シ是ハ強制的ノモノデゴザイマシテ先ツ簡易保険ニ稍々近イノハ老齢保険デゴザイマスガ、制度が全然違ヒマシテ参考ニナルヘキモノデハゴザイマセヌ、ソレカラ唯今御問ノ、御承知ノ通り商法ノ保険ニ關シマスル規定ハ、所謂營業的商行為デアリマシテ、業トシテ行フ場合ニ限ツテ商法ノ保険ニ關スル規定ノ適用ガゴザイマス、此簡易保険ハ政府が業トシテ行フノデハナイ、即チ營業トシテ之ヲ行フト

云フ趣意デハゴザイマセヌカラ、ソレデ直接ノ適用ハナイト云フ趣意デゴザイマス、尙本商法中ニ於テハ相互保險ノ如キモノハ矢張リ業トシテ行フモノハゴザイマセヌデ、當然商法ノ保険規定ノ適用ハナインゴザイマスカラ、特ニ特定ヲ置キマシテ保険ニ關スル規定ハ相互保險ニ準用スト云フコトヲ書イテ居リマス、ソレト同ジヤウナ趣意ト御承知ヲ願ヒタク

○委員長(伯爵林博太郎君) 第四條ヨリ十條マデ御質問ゴザイマセヌカ

○鎌田勝太郎君 此八條デゴザイマス、一箇年内ニ死去シタル時分ニハ勅令ノ定ムル所ニ依シテ保険金額ノ一部ヲ支拂ハサルコトヲ得トアリマス、其勅令ノ案ニアリマセウガ参考書ノ方モ一箇年内ニ死去シタル場合ハ……一年内ハ保険金ノ一分ノ一ニ該當スル金額ヲ支拂フモノトス、斯ウアルヤウデアリマス、サウ致シマシテ、以前ノ保険規則案ヲ見マスルトニ箇年ニナツテ居ル、契約後二箇年以内ニ死ンダナラバ云々トアリマシテ金額ヲ低減シテ居リマス、此三年ト二年トハ大變ナ關係ヲ致シマスル、元ト三年デアッタノヨニ直サレマシタ御趣意ハドウ云フ譯ニナリマス

○政府委員(松本烝治君) 此外國ノ簡易保險ハ大抵ナモノハ矢張リ一年位ニ削減期間ヲ致シテ居リマス、而シテ是デ餘リ不便ヲ感シテ居ラスト云フ點ト、又實際ノ取扱ト致シマシテ身體検査ヲ致シマシテモ其效力ガサウ長ク續キマセヌコトガ多イノデ、先ツ一年ト云フ處デ押ヘテ置キマスレバ大丈夫テナカラウカ、自殺ニ付キマシテハ後ニ規定ガゴザイマシテ、保險契約後二年内ニ自殺シタ時ニハ支拂ヨシナイ併ナガラ一年後ノ自殺ナラバ支拂ラスルト云フコトヲ書イテ居リマス、是デ前カラ斯ウシテ居ツタ記憶イタシマスルが、是ノ如キモ、一年後ノ自殺マテ豫想シテ這入ル者ハナカラウト云フ趣意デ、先ツ一年ト云フ所ヲ見マスレバ、一年後ニ死ヌト云フコトヲ豫想シテ這入ルト云フコトハモニハ少シ長過ギルカラニヨラ短縮シタ方が宜シトイ云フ答申が大分専門家等カラモゴザイマシタ、ソレ等ニ鑑ミマシテ一年ニ致シマシタ

○委員長(伯爵林博太郎君) 四條ヨリ十條マデ……

○荒井泰治君 私ハ第五條ニ付テ伺ヒタク思ッテ居リマス、第一ハ普通ノ保險デゴザイマスルト病症ノ如キニ付テ詐偽ノ申込ヲシテ來タト云フ場合ニ往々保險會社ト此被保險人ノ間ニ訴訟ノ起場合ガ多カアリマス、左様ナ場合ニハ普通ノ保險デゴザイマスレバ身體検査ヲ醫師ガ行ツテヤルノデ、ソレヲ理由トシテ此被保險者ニ利益ノ裁斷ヲヤラレルノデ、何時デモ保險會社ハ此病症ヲ隱シタクト云フコトノ爲ニ保險金ヲ支拂フト云フコトヲ免レルコトガ出來ナイヤウナ判決例ガ現在アツタヤウニナツテ居リマス、然ルニ茲ニ五條ガアッテ「被保險者ノ身體検査ヲ行ハス」トスウナルト、先刻ドナタカノ御質問ニ御答ガアッテ成ルタケ寛大ニ見テヤルノデ、サウ詐偽トハ言ハヌ、所ガ大抵ノ病氣ヤ其他ノ者ハ入レヌト云フ御話デゴザイマスガ、併シソレハ此項ヲ御起草ノ場合ニハ左様デゴザイマセウケレドモ、又之ヲ執行スル人ノ如何ニ依シテ、若シ裁判デモ起ツタト云フ場合ニナリマスレハ此五條アルガ爲ニ却ツテ被保險者ハ其疾病ノ報告ヲ偽シタト云フ事實が明カニナリ、其方ニ重キヲ置カレルノ裁判ヲ受ケナイトモ限ラヌト思フノデアリマスルガ、其邊ハドウ云フモノデゴザイマセウカ、矢張リ法律上ノ解釋上カラモサウ云フコトハナイト云フコト

ニ歸著イタシマセウカ、若シソレガ手加減デアッテ法律上ノ解釋カラシテ矢張リ詐偽ノ申立デアルト云フコトニナリマスレバ五條ト云フモノガアッタガ爲ニ却ツテ被保險者ガ不幸ヲ受ケルコトガ發生シナイカト云フ虞ガアリマスルガ、左様ニゴザイマスレバ寧ロ先刻ノ御答辯モゴザイマシタガ其病症ナドヲ記入スル方ヲ削除シテシマツタ方が此五條ノ爲ニ被保險者ノ不幸ヲ受ケルト云フ虞モ無クナツテ行クデハナイカ、然ラズバ茲ニ法律上ノ權利ヲ手加減デスルコトハ少シク心細イデハナイカト云フ感シガゴザイマスルガ、是ハ如何ナモノアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 何等疑義モ何モゴザイマセヌ、詐偽ニ依シテ這入リマスコトヲ無効トスルコトハ必要ナコトト感ジテ居リマス、免ニ角詐偽ヲシマシテ態、サウシテ這入リマシタ如キモノハ當然無効トシテ宜カラウト考ヘテ居リマス、此ノ如キ者ガ有效ニナリマシテ保險者ガ尙本責ヲ負フト云フノハ甚ダ不公平ナ話デ、是ハ商法ノ方ノ規定ノ闕陥カラ生ジマシテ、サウ云フ慣例ガアル、此ノ如キモノハ宜シク改正セラルベキモノト、コチラハ考ヘテ居リマス

○荒井泰治君 モウ一つ伺ヒマス、被保險者ハ身體検査ヲ行ハスト明カニ五條ニ規定シテゴザイマスルガ、左様イタシマスルト何人デモ此保險ニ、大抵ノ病氣ノ者ハ這入り得ル權利ガアルヤウニ見エテ居リマスルガ、ソレヲ取締マルト云フコトハ、ドウ云フコトノ手續、及其取捨スル人ハ誰が取捨スルノデゴザイマスルカ、又取捨ノ權利が果シテアルノデゴザイマセウカ、チヨット伺ヒタク

○政府委員(松本烝治君) 是ハ私法上ノ契約デアリマスルカラ契約ヲ締結スルト否トハ隨意デゴザイマス、取捨ノ權限ハ貯金局本局ニ於テ持ツア居リマスカラ、本局ニ於テ決定イタス積リデアリマス

○荒井泰治君 サウスルト申込ヲ致スト云フノハ書面デ申込ヲ致シマス、サウスルト其貯金局デゴザイマスルカ、其書面ニ記載シタ實況ニ依シテ御判断ノ上ニ御決定ニナルト云フコトニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(松本烝治君) 左様デゴザイマス

○荒井泰治君 サウスルト何人デモ之ニ對シ這入リ得ル、固ヨリ勞働者ノ如キハ多イ自ラ肺結核デアリマスルトカ癌デアリマストカ其他ノ知識ガ極メテ薄ウゴザイマセウカラ、何レ有ツタ處ガ書カナイデゴザイマセウ、左様見マシテ書面ダケノ御判断デアルトスレバ先づ大抵ナ者ハ病人デモ皆之ニ這入リ得ルト解釋シテ居ツテ宜シイ譯デアリマスカ

○政府委員(松本烝治君) 左様デゴザイマス、契約ヲスルモノハ一應コチラデ見ルコトニナツテ居リマスルカラ、見マシタ上テ明カニ病人デアラウト云フヤウナ判斷ガ出來マスル時ハ現在ノ疾患ヲ書カスコトニナツテ居リマスカラ、之ヲ聞キマシテ實ノコトヲ書カス手續ヲ取ル積リテゴザイマス

○荒井泰治君 ドウ云フ手續ニナリマス

○政府委員(松本烝治君) 契約ヲ締結スルニ當リマシテ郵便局ニ出頭シテヤルコトニ

ナヲテ居リマスカラ、此場合ニ見マシテ明カニ病弱者ト見ルベキ者ハ現在疾患ガアルカドウカラ聞キマシテ之ヲ記載セシメマス、其記載ニ依リマシテ貯金局が決定スル趣意アゴザイマス

○荒井泰治君 左様イタシマスルト其三等郵便局へ出頭イタシテソコデ自ラ……何レ此被保險者が自ラ出頭スルノデアリマセウガ、サウスルト其趣旨ヲ二等郵便局長が認メテ、ソレガ三等郵便局長ノ書キマシタノガ土臺トナッテ御決定ニナルト云フノデ、二等局長が取捨權ヲ持ツテ居ルト云フコトニ見テ宜シヤウニナリマスガ……

○政府委員(松本泰治君) 左様ナコトハゴザイマセヌ、併ナガラ三等局長ノ判断ニ依リマシテ、疾患が書イテアルノデアリマスカラ其點ニ付テノ判断ガ、此取捨ヲ致シマスコトノ材料ニハ勿論ナリマス

○委員長(男爵林博太郎君) 第四條ヨリ第十條マニ尙ホ御質問ガゴザイマスカ……ゴザイマセヌモノト認メマス、本日ノ會議ハ是テ終リマス、何レ明日開會イタシマスガ、其刻限ハ彙報ヲ以テ御通知イタシマス

午後二時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵林博太郎君
委員 子爵本多 忠鋒君 仲小路 康君 小松謙次郎君
男爵眞田 幸世君 男爵長松 篤棐君 富井 政章君

山之内 一次君 水野鍊太郎君 桑田 熊藏君
荒井 泰治君 鎌田勝太郎君

國務大臣 遷信大臣 箕浦 勝人君

政府委員 法制局參事官 松本 泰治君 法制局參事官 馬場 鎌一君
爲替貯金局長 肥後 八次君 爲替貯金局事務官 日吉 平吉君